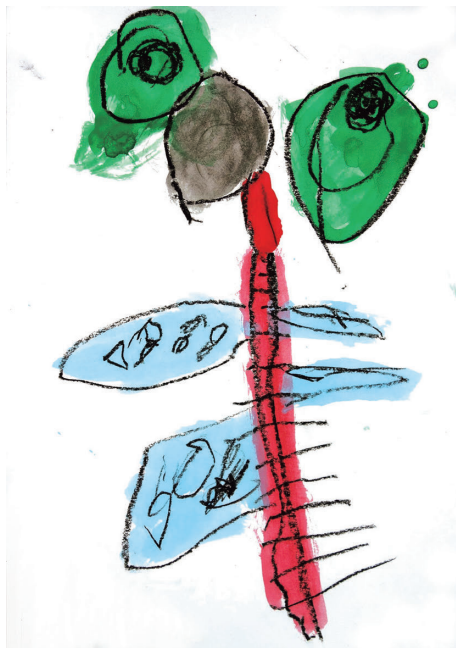
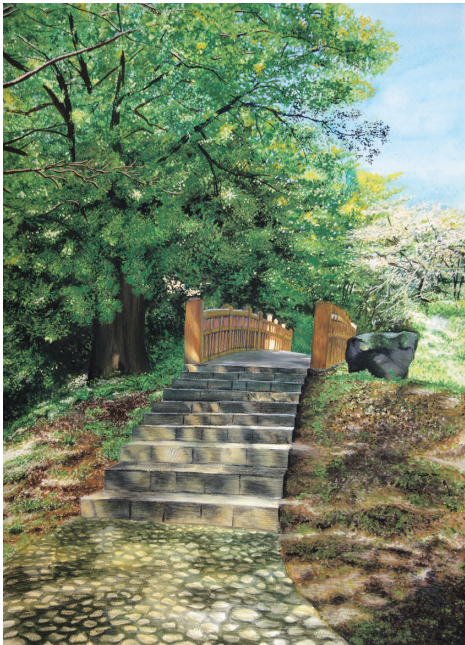


令和2年度 

さくら市の教育

Education of **SAKURA** City



さくら市教育委員会

表 紙

第17回 さくら市ミュージアム

— 荒井寛方記念館 — こども絵画展

荒井寛方賞受賞作品

左上	「勝山城跡」	亀井	果歩
右上	「大きいオオクワガタ」	岡田	稟生
左下	「あかとんぼ みつけたよ！」	大門	夏穂
右下	「鯉のいる景色」	三浦	悠李

さくら市の概要

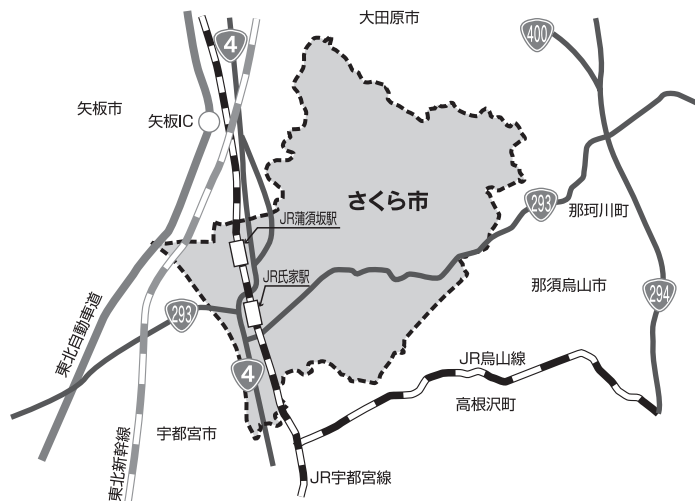
さくら市は、平成17年3月28日に氏家町と喜連川町が合併して誕生した人口約4万4千人、面積約125km²の市である。

本市は、栃木県の県都宇都宮市の北東、栃木県の中央部やや北寄りに位置し、栃木県を北西から南東に貫流する鬼怒川の東側に位置する。市の地形は菱形に近く、関東平野の北端部と高原山の南面からのびる丘陵地帯で、鬼怒川・五行川の鬼怒川水系と荒川・内川・江川的那珂川水系が流れ、その流域は、肥沃な水田地帯を成し、水清く緑多い自然環境に恵まれたまちであるといえる。

氏家、喜連川は古代・中世の文書に名前が登場するなど歴史は古く、また近世になると氏家は奥州街道の宿場町として、喜連川は足利氏ゆかりの城下町として栄えた。昭和の町村合併では新たな氏家町、喜連川町が誕生し、幾多の試練を乗り越え確実に歩んできた。

氏家では平成5年度にミュージアム氏家（当時）がオープン、また喜連川では昭和56年の温泉湧出と平成13年の道の駅竣工等により、町の歴史にそれぞれ新たな1ページを開いた。

そして、平成の大合併として平成17年にさくら市が誕生した。これまで両町が取り組んできた文化の息づく・文化の薫るまちづくりをめざして、心豊かな人づくりに取り組んでいる。

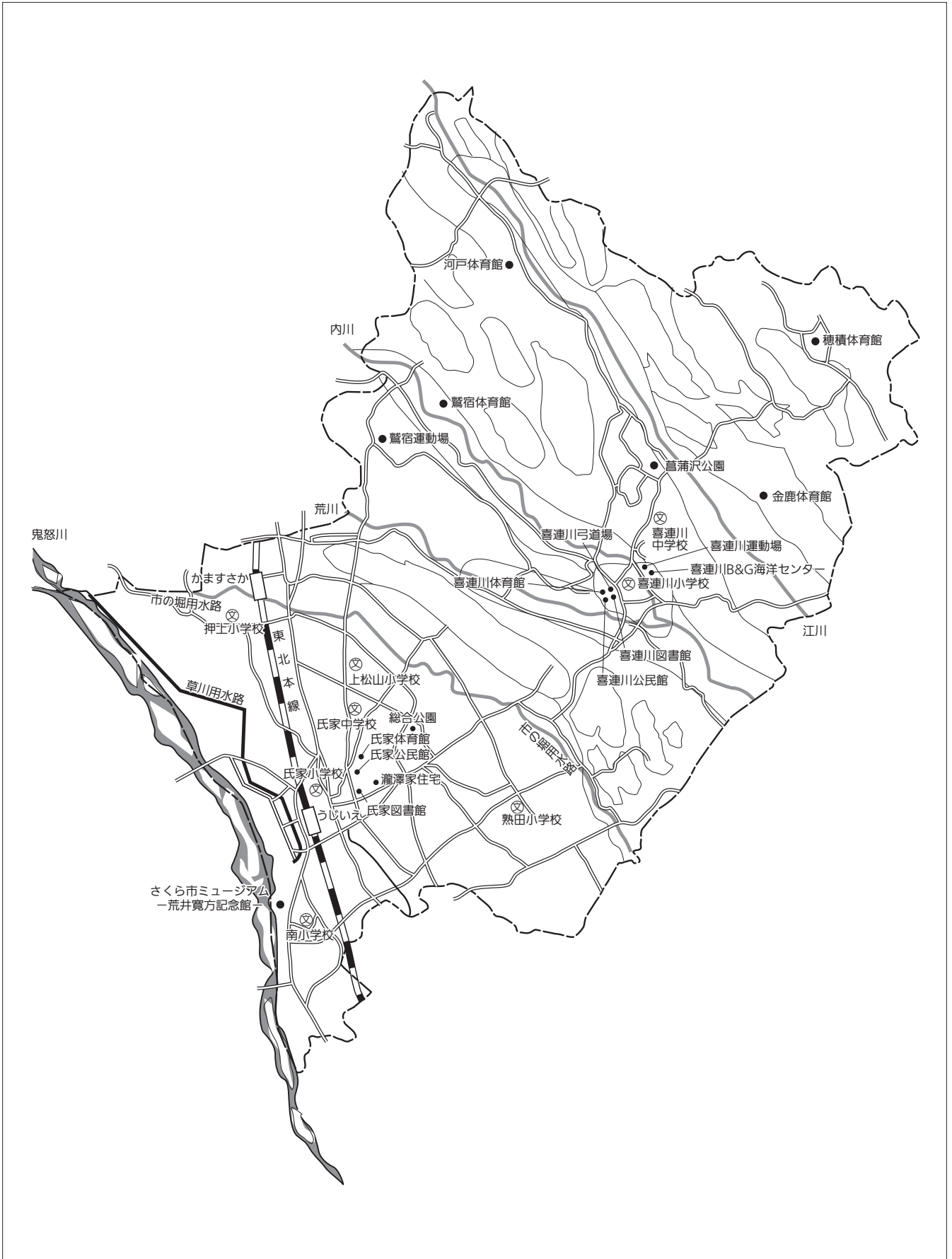


～さくら市章について～

さくら市の「さ」をモチーフに、
花びらのハートは市民がお互いに思いやる心を持ちつつ
未来へ羽ばたくことを表現し、
その心意気を高らかに謳いあげています。
青は豊かな心と英知により、
自然と調和した発展を創造することを表しています。



さくら市全図



目 次

「さくら市の教育」刊行にあたって	4
さくら市教育目標	5
I さくら市教育全体構想	
1 さくら市教育目標について	6
2 生涯の各時期における教育目標と重点施策	6
◇生涯学習推進方針	14
◇人権教育基本方針	15
II 教育委員会の概要	
1 教育委員会委員	16
2 教育委員会機構	16
3 事務分掌	17
4 指標並びに運営方針・努力点	21
III 教育財政	
1 令和2年度教育予算	22
2 令和2年度主要事業	23
IV 学校教育	
1 基本方針	26
2 今年度の重要施策と具体策	26
3 さくら市立学校の概要	29
4 教育諸団体の事業計画	35
5 令和2年度研究学校・研究事業等について	39
6 喜連川給食センター	40
V 生涯学習・社会教育	
1-1 生涯学習・社会教育の基本方針	42
1-2 本年度の重点目標	42
2-1 本年度の主な施策と事業計画	45
2-2 各種学級・講座関係一覧	50
2-3 生涯学習各種委員会	51
3 公民館	52
4 図書館	56
5 さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館	64
VI 社会体育	
1 社会体育の目標、基本方針	81
2 本年度の重点目標	81
3 体育施設	81
4 社会体育関係団体および委員会	88
資料編	94

令和2年度「さくら市の教育」刊行にあたって

さくら市教育委員会教育長 橋本 啓二



冒頭で大変失礼ではありますが、右の絵図は、市指定文化財「喜連川神社神輿渡御図」です。喜連川神社の天王祭は勇壮で現在でも栃木県を代表する祭りの一つです。しかし、この作品は、天王祭を描いたものではありません。



喜連川神社神輿渡御図

1862（文久2）年に疫病（コレラ）がはやり、これを鎮めるために、8月4日から6日までの3日間臨時の神輿の巡行を行いました。その後疫病は退散し、それを感謝してこの絵図を奉納したことが、覚書からわかります。

令和2年はコロナ禍の中で始まり、学校は3月初めから、約3カ月に及ぶ休校措置を取ることになりました。学校再開後も感染症予防の観点から、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していくことに全力を傾注しているところです。またあらためて冒頭の絵図のとおり、古の人々と同様、新型コロナウイルス感染症の収束、そして終息となることを願ってやまないところです。

さて、ここに令和2年度「さくら市の教育」を発刊いたしました。私は常々、教育は家庭教育・学校教育・社会教育の力強い連携で成り立つものと考えています。義務教育の子どもたちに係る学校教育については「教育は未来への投資」という考えからそれを意図的・計画的に学校教育で行う必要があります、それを支える基盤となるのが、家庭教育・社会教育を含めた生涯学習というのが常々の持論であり、また「教育の不易と流行」の信念に基づくものです。

この考え方は冊子冒頭にある「さくら市教育全体構想」の根幹にあります。また、特に今年度は両サイドに、学力向上、新型コロナウイルス感染症対策、あいさつの奨励、生涯学習からのまちづくりを掲げ、教育実践の指針（ベクトル）にすることとしました。「凡事徹底」の精神はこの職に就任以来、またさくら市の学校で管理職として勤務させていただいた時代から学校経営の基本としたものです。当たり前のことを当たり前にするのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やることをあらゆる教育活動の中で進めていくことです。しかし、これだけでは教育の進歩、改革は望めません。先ほど述べた「不易と流行」で言えば、不易は凡事徹底であり、流行は新しいこと、時宜を得た課題への挑戦です。



さくら市の子どもたちが「社会の中でよりよく生きていけるようにする」ために、また市民の皆さんが大好きなさくら市をもっと育むために教職員、保護者の皆様、地域の皆様、そして議会の皆様、教育行政が一体となり、魅力あるさくら市の教育を推進できるよう、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



さくら市教育目標



基本理念 さくら市教育大綱 教育の進化

気力・体力・学力 No.1

凡事徹底の精神で教育の進化を目指します。目標を達成するために最も大切なことは、小さな努力をこつこつと重ねること。当たり前なことを当たり前にするのではなく、当たり前なことを人には真似できないほど一生懸命にやるのが大切です。

教育目標
心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり

新型コロナウイルス感染症対策の徹底

○大好きなさくら市をもっと育もう
—さくら咲き 夢さき 人さき 文化さく—
第二次さくら市生涯学習推進計画

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり

○「おはよう」からはじめる人づくり
子どもも大人も “朝のあいさつ”

～生涯学習 “学びのライフステージ”～



人権教育の推進

家庭教育支援の目標

自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実

学校教育の目標

一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実

社会教育の目標

人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実

協働

協働

学校教育活動全体を通じた

道徳教育の充実

I 生きて働く知識・技能の習得

II 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の育成

III 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成

1 確かな学力の育成 (学力県内トップクラスを目指します。)

- ①深い学びに向けた授業推進
【市授業力向上研修・学校課題、研究授業支援】
【学力向上推進リーダー派遣事業】
- ②各種調査の実施と結果活用
【国・県・市学力調査】
- ③個に応じた指導【MIMの活用】

2 健やかな体の育成

- ①食育の推進
【健やかな体づくりのための食育推進研究】
【市献立研究会(栄養教諭、栄養職員)】
- ②体力の向上
【全国体力・運動習慣状況調査の活用】

I 教員の資質向上

- ①教師の使命感・専門性の向上
【研修の充実】【先進的教育の研究】
- ②教師の総合的な人間力の向上
【接遇の向上】
【保護者や地域の方との連携・協力】【重2】
- ③特別支援教育への理解促進
【教員対象の講演会】

3 豊かな心の育成

- ①相手を思いやる心の教育の推進
【考え議論する道徳】【人権教育実践研究】
- ②読書活動の推進
【朝の読書活動推進、読書活動推進員(図書事務員)を中心とした家読の推進】

4 特別支援教育の充実

- ①早期教育相談の充実
- ②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援
【個別の支援教室・学習室等の充実】
- ③情報モラル教育の充実【ネットいじめ防止講演会】

II 学校の指導体制の整備

- ①非常勤講師等配置
- ②不登校への対応強化
【適応支援連絡会議の実施】
【専門職の活用】【訪問型支援の実施】
- ③教育相談体制の充実
【専門家の効果的な活用】

6 校種間の円滑な接続

- ①小中一貫教育の実施
【さくら市小中一貫教育全体構想】
【市内全小中学校】

7 地域学習・国際理解教育の推進

- ①地域学習、体験活動の推進
【ボランティアの推進】
- ②国際理解教育の推進
【英語体験村】【英検助成】

III 教育環境の整備

- ①信頼される学校づくりの推進
【ホームページの活用】【授業公開の推進】
- ②業務改善計画の継続実践
- ③ICT機器の充実
【GIGAスクールの推進】
- ④防災教育の推進
- ⑤施設の整備【学校給食センターの整備】
【長寿命化計画に基づく整備】

【生涯学習課】

- 地域の教育力の向上
・市民大学(さくら学)による地域リーダーの育成
・青少年指導者の育成
(少年指導員、ふれあいスクールサポーター等)
- ・地域学校協働活動推進員の育成

○生涯学習の推進

- ・ゆめ！さくら博、生涯学習振興大会の開催
- ・市内学習施設(サテライト)の有効活用
- ・でまえ学び塾の実施
- 芸術文化活動
・文化振興事業の実施
・文化振興事業への市民参画

【スポーツ振興課】

- 生涯スポーツの推進
・スポーツ教室の充実・スポーツ大会の開催、誘致
- ・ニュースポーツ、軽スポーツの振興
- ・高齢者、障害者スポーツ機会の充実
- ・指導者、ボランティアの育成支援
- スポーツ施設の充実(整備・管理・運営)
・不足する機能確保のための施設整備
・既存施設の機能充実及びプール最適化計画の策定

【公民館】

- 公民館講座の充実
・菜の花学級(高齢者)、公民館サポートボランティア養成等
- 自治公民館を活用しての交流推進
・自治公民館でまえ講座・異世代交流・家庭支援事業の推進
- 施設の整備(氏家公民館給排水等改修工事)

【図書館】

- 市民ニーズに基づく図書館サービスの向上
・レファレンスサービスの充実
・情報発信の充実
- 図書館資料の整備充実(電子書籍の充実)
- 多様な学習機会の提供(各種講座の開催)
- 利用者との協働

【さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—】

- 展示事業の充実
・特別展「平山郁夫展」をはじめ、各種企画展の開催
- 市民ギャラリーの活用
- 郷土の歴史・文化的資料の収集、保管、研究、活用
- 歴史・文化・芸術情報の発信
- 文化財の保護と活用
・瀧澤家住宅の活用
・さくら市文化財周知・保護の推進

幼・保・小
連絡協議会

親子応援
講座(就学
時健診時)

家庭教育
支援チーム

5歳児から
の英語教育

読み聞かせ・学校図
書ボランティア(読書
活動推進)

放課後子ども教室
(喜小っ子、押小っ子ふれ
あいスクール)

さくら未来塾

協働

音楽鑑賞教室・
ミュージアム絵画
鑑賞教室

生活困窮世帯への
学習の場の提供

各種ボラン
ティア事業

○青少年健全育成・体験活動の充実

- 【生涯学習課】
・青少年センターあいさつ活動・体験活動事業
- ・さくらユースボランティア活動の拡充
- ・講座と発表会の開催
- ・さくら未来塾学習・体験コースの充実
- ・さくら未来塾リーダーの育成

青少年教育の目標

さまざまな体験・交流をとらして、自分のよさを見つけられる青少年教育の充実

【公民館】

- ・就業体験の受け入れ(マイ・チャレンジ、インターンシップ等)
- ・若者向けの芸術・スポーツ講座

【スポーツ振興課】

- ・子どもスポーツ教室、大会の開催
- ・親子参加型スポーツ教室、大会の開催
- 【さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—】
・子ども絵画展
・体験学習の開催

【図書館】

- ・図書館まつり(氏家図書館)・工作会(両館)
- ・子ども読書だより
・1日子ども図書館員

I さくら市教育全体構想

1 さくら市教育目標について

さくら市教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり

さくら市教育委員会では、市民一人一人が夢と生きがいをもち、創造性と活力に満ちた心豊かな人生を送れることを望んでいる。そのためには、まず心と体が健康であり、自分の興味関心のもと生涯にわたって自ら学んだり、自己を高めたりすることが重要である。このような、それぞれの時期において、自分のよさを知り、認められ、伸ばすことができ、達成感を感じられる自己実現する力を学校教育や社会教育で培っていく必要がある。

さらに、学んだことを地域社会に生かすこと、すなわち社会に貢献することにより、市民がやりがいや生きがいを感じ、地域社会も活性化されることが期待できる。

言い換えれば、市民一人一人が生涯の各時期に必要な学習活動を行いながら、コミュニケーション能力を高め、学び合い、実践し合い、振り返り合いながら自らの人格の完成を目指すとともに、家庭や地域社会の形成者としての役割を果たしていくということであり、これらのが日常化されることにより、豊かな人間性が培われ共に生きる生きがいのある住みよい地域社会がつくられていくのである。

これらをふまえ、市教育目標を「心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり」と設定する。

「自己実現」とは

- ・自分の中にひそむ可能性を自分で見つけ、十分に発揮すること（広辞苑）
- ・自分の目的、理想の実現に向けて努力し、成し遂げること（大辞泉）

2 生涯の各時期における教育目標と重点施策

さくら市教育委員会では市教育目標を達成すべく、「栃木県教育振興基本計画2020—教育ビジョンとちぎ—」の基本理念や基本施策を踏まえ、「いきいき栃木っ子3あい運動」や「栃木の子どもをみんなで育てよう運動」を基盤に、生涯の各時期において下記のような目標と重点施策を講じながら進めていく。（重点施策の内容の詳細は、各担当課の頁を参照）

(1) 乳幼児時期： **家庭教育の支援** 【◇生涯学習課】

◇家庭教育支援の目標◇

「自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実」

【生涯学習課】

- 乳幼児教育の充実

- ・ほのぼのの広場

○家庭教育の向上

- ・育ちにくい子を持つ親への支援(ひだまりふぁんの会)・家族フェスタ
- ・家庭教育支援チームとの連携 ・思春期の子をもつ親への支援「親子学び合い事業」
- ・家庭教育通信「つくしんぼ」、「子育てMAP」の発行 ・親子応援講座

【公民館】

○乳幼児教育の充実

- ・エンゼル講座
- ・自主学級の支援

○家庭教育の向上

- ・家庭教育学級の支援

【図書館】

○乳幼児教育の充実

- ・ブックスタート事業(10ヶ月健診時)
- ・おはなし会(氏家図書館・喜連川図書館)
- ・プチおはなし会、わらべうたの会(氏家図書館)
- ・紙しばい(氏家図書館・喜連川図書館)
- ・絵本の巡回貸出(幼稚園・保育園・児童センター)
- ・あかちゃんタイム(氏家図書館・喜連川図書館)



(2) 少年期～青年期：**青少年教育**〔◇生涯学習課〕・**学校教育**〔◆学校教育課〕

◇**青少年教育の目標**◇

「さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさを
見つけられる青少年教育の充実」

【生涯学習課】

○青少年健全育成・体験活動の充実

- ・青少年センターあいさつ巡回活動
- ・青少年体験事業(青少年センター体験事業：農業体験、職業体験、異世代交流等)
- ・青少年ボランティア活動の拡充
- ・さくら未来塾

【公民館】

○青少年の居場所づくりなど

- ・就業体験の受け入れ(マイチャレンジ、インターンシップ等)
- ・若者向けの芸術・スポーツ講座

【図書館】

○読書活動の推進

- ・図書館まつり

- ・ 工作会(両館) ・ 子ども図書館だより ・ 図書館ツアー

【さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－】

- 芸術・文化に触れる機会の充実
 - ・ こども絵画展 ・ 体験学習の開催

【スポーツ振興課】

- スポーツ活動の充実
 - ・ 子どもスポーツ教室、大会の開催
 - ・ 親子参加型スポーツ教室、大会の開催

(3) 成人期～高齢期： **社会教育** [◇生涯学習課]

◇社会教育の目標◇

「人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実」

【生涯学習課】

- 地域の教育力の向上
 - ・ 市民大学による地域リーダーの育成
 - ・ 青少年指導者の育成・地域と学校を結ぶコーディネーターと学校支援ボランティアの育成
 - ・ 地域課題解決に向けた「地域元気プログラム」の実施
- 生涯学習の推進
 - ・ ゆめ!さくら博、生涯学習振興大会の開催
 - ・ 市内学習施設(サテライト)の有効活用
 - ・ でまえ学び塾の実施
- 芸術文化活動
 - ・ 文化振興事業の実施
 - ・ 文化振興事業への市民参画

【公民館】

- 公民館講座の充実
 - ・ 高齢者学級(菜の花学級)、乳幼児学級(エンゼル講座)、公民館ボランティアの養成、青少年の居場所づくり
- 自治公民館を活用しての交流推進
 - ・ 自治公民館でまえ講座 ・ 異世代交流 ・ 家庭支援事業の推進
- 施設の整備
 - ・ 氏家公民館給排水等の改修工事

【スポーツ振興課】

- 生涯スポーツの推進
 - ・ スポーツ教室の充実、スポーツ大会の開催、誘致 ・ ニュースポーツ、軽スポーツの振興
 - ・ 高齢者、障がい者スポーツ機会の充実 ・ 指導者、ボランティアの育成支援

- スポーツ施設の充実(整備・管理・運営)
 - ・不足する機能確保のための施設整備
 - ・既存施設の機能充実

【図書館】

- 市民のニーズに基づく図書館サービスの向上
 - ・レファレンスサービスの充実
 - ・情報発信の充実
- 図書館資料の整備充実(電子書籍の充実)
- 多様な学習機会の提供
 - ・各種講座の開催
- 図書館利用者との協働

【さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－】

- 展示事業の充実
 - ・各種企画展の開催
- 郷土の歴史・文化的資料の収集、保管、研究
- 歴史・文化・芸術情報の発信
- 市民ギャラリーの活用
- 文化財の保護と活用
 - ・さくら市の文化財の周知・整備の推進・無形民俗文化財保存団体の育成



また、生涯の各時期の教育と学校教育がつながり合う活動も展開していく。

(1)乳幼児期の教育(家庭教育)と学校教育

- ・幼・保・小連絡協議会
 - 【乳幼児学級と学校教育を円滑につなぐ研究を推進する】
- ・親育ち・子育て支援協議会
 - 【情報や学習機会の提供、相談体制の整備等、きめ細やかな家庭教育支援を行う】

(2)青少年教育と学校教育

- ・読み聞かせ・学校図書ボランティア(読書活動推進)
 - 【図書関係ボランティアの育成と学校への導入により、子どもの読書活動を推進する】
- ・放課後子ども教室(喜小っ子、押小っ子ふれあいスクール)
 - 【地域社会の中で放課後等に子どもたちが安全で安心して、健やかにはぐくまれるようにする】
- ・音楽鑑賞教室
 - 【音楽家を招いた公演会を開催し、子どもたちの情操をはぐくむ】
- ・青少年センターや家庭教育支援チームによる出前講座
 - 【子どもたちの生活リズムの向上等を推進するための出前講座を実施する】

(3)社会教育と学校教育

- ・コミュニティ・スクールの開設準備

【学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組む】

- ・地域学校協働本部事業

【地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、子どもたちの生きる力及び学力の育成を図る】

- ・外部評価の積極的導入(学校評議員)

- ・中学生マイチャレンジ事業

【中学生が社会に出て職業を体験。自分の将来を見つめると共に地域とのつながりを深める】

- ・安心・安全ボランティアのネットワーク

【さまざまな安心安全関係のボランティアや組織等のネットワークを構築する】

- ・学校開放講座

【学校を主な会場に、教職員が趣味や特技を生かして、文化、芸術、体育等の教室を開催し、地域にその力を還元する】

◆学校教育の目標◆

「一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実」

育てたい資質・能力

I 生きて働く知識・技能の習得

II 学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の育成

III 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

I 基本施策

1 確かな学力の育成

①深い学びの授業の推進

【市授業力向上研修・学校課題、研究授業支援】

【学力向上推進リーダー派遣事業】

②各種調査の実施と結果活用

【国・県・市の学力調査】

【学力向上推進研修会】

③個に応じた指導

【MIMの活用】

2 健やかな体の育成

①食育の推進

【健やかな体づくりのための食育推進研究】

(市献立研究会(栄養教諭・栄養職員))

②体力の向上

【全国体力・運動習慣状況調査の活用】

3 豊かな心の育成

①相手を思いやる心の教育の推進

【考え、議論する道德の授業づくり】

【道德教育応援チーム派遣事業】

【人権教育実践研究】

②読書活動の推進

【朝の読書活動推進、読書活動推進員(図書事務員)を中心とした家読の推進】(全国家読ゆうびんコンクールへの応募)

4 特別支援教育の充実

①早期教育相談の充実

②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援

【個別の支援教室・学習室等の充実】

【幼・保・小中への訪問支援の充実】

5 問題行動(いじめ・不登校等)の未然防止・対応

①望ましい学級・集団づくりの推進

【Q-U調査の活用】

②悩みを抱える子ども、保護者等の支援

【市適応支援教室「つばさ」の充実】

③情報モラル教育の充実

【ネットいじめ防止講演会】

6 校種間の円滑な接続

①小中一貫教育の研究

【さくら市小中一貫教育全体構想】(市内全小中学校)

②幼・保・小の連携推進

【幼保小連絡協議会】

7 地域学習・国際理解教育の推進

①地域学習、体験活動の推進

【ボランティアの推進】

②国際理解教育の推進

【英語体験村】

【英検助成】

8 特色ある学校づくり

①教育研究所による研究指定

②総合的な学習の時間や少人数指導等創意工夫を生かした教育活動



Ⅱ 基本施策推進のための教育環境づくり

I 教員の資質向上

①教師の使命感・専門性の向上

【研修の充実】

【先進的教育の研究】

②教師の総合的な人間力の向上

【接遇の向上】

【保護者や地域の方との連携・協力】

③特別支援教育への理解促進

【教員対象の研修会】

II 学校の指導体制の整備

①非常勤講師等の配置

②不登校への対応強化

【適応支援連絡会議の実施】

【専門職の活用】

【訪問型支援の実施】

【アウトリーチ】

③教育相談体制の充実

【専門家の効果的な活用】

III 教育環境の整備

①信頼される学校づくりの推進

【ホームページの活用】

【授業公開の推進】

②業務改善計画の継続実践

③ICT環境の充実

【GIGAスクールの推進】

④防災教育の推進

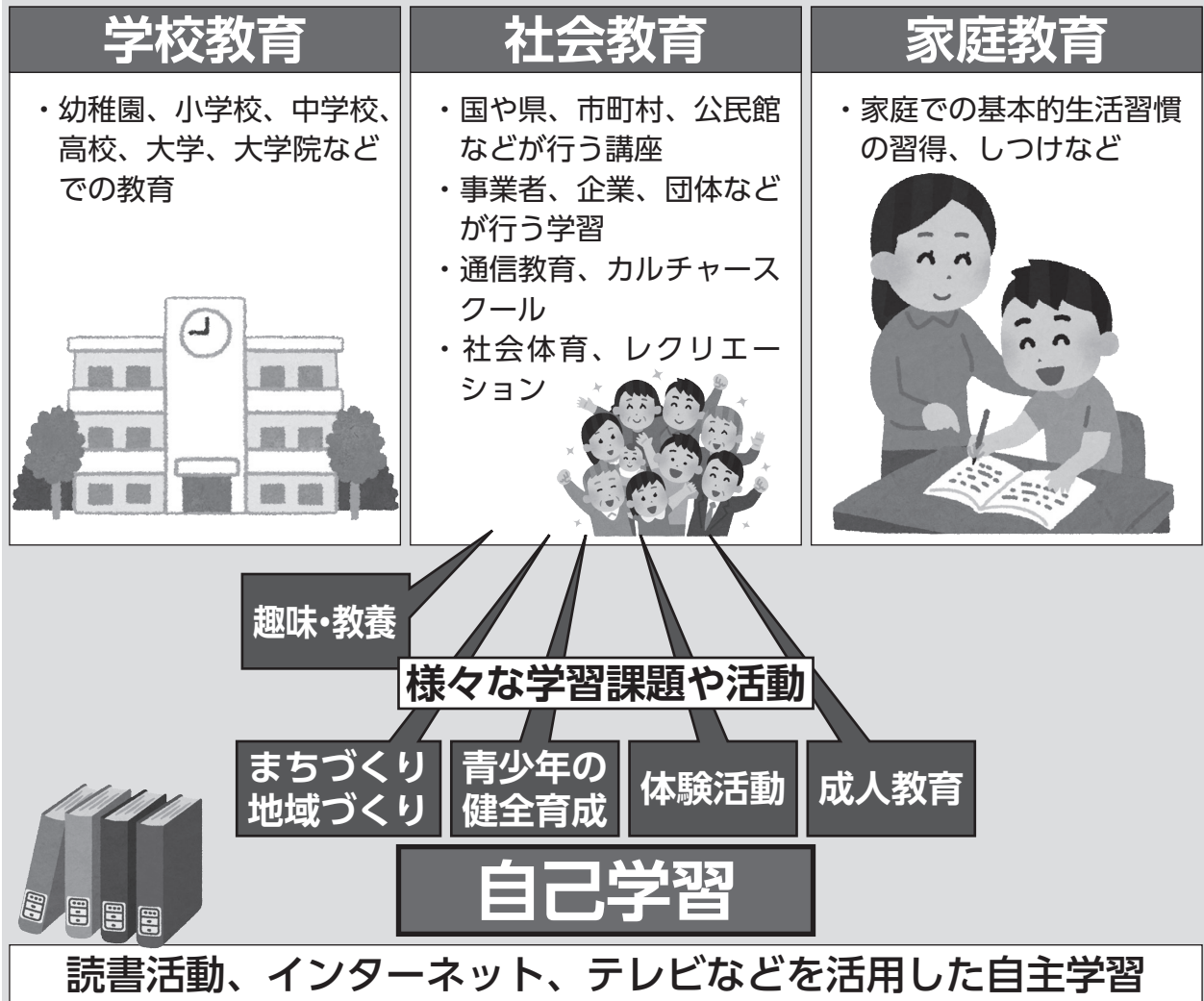
⑤施設の整備

【学校給食センターの整備】

【長寿命計画に基づく整備】

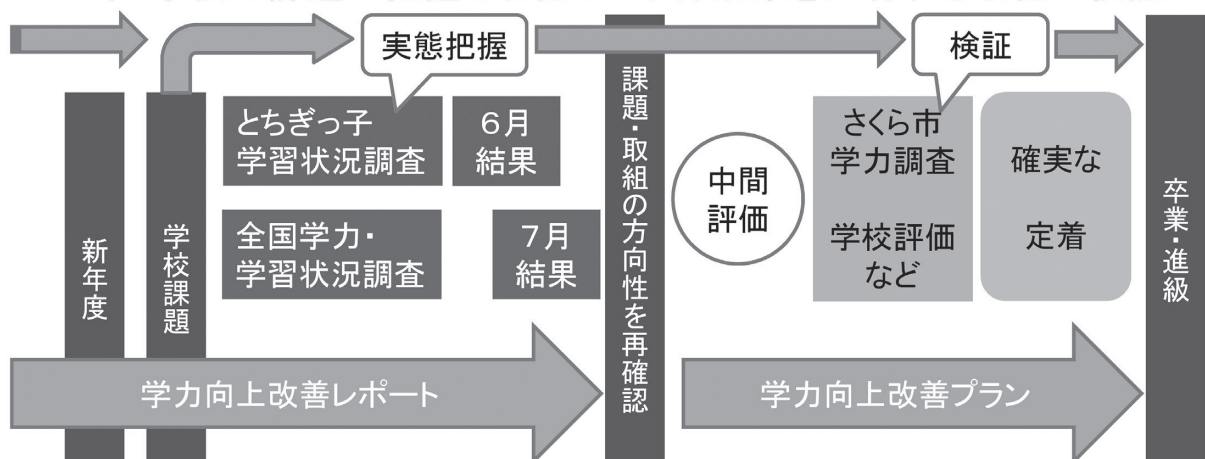


さくら市の進める生涯学習のしくみ



さくら市独自の学力検証改善サイクル

～市・学校の課題の把握と取組の工夫、成果を共有する取組の検証～



生涯学習推進方針

さくら市教育委員会

少子高齢化の進行をはじめとする急激な社会変化の中、市民一人ひとりが生きがいのある充実した生活を送り、豊かで活力ある地域社会づくりが望まれている。そのためには、基本的人権尊重の精神に立ち、身心共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくりのため、市民と行政が協働し、知恵を出し合い力を合わせて「生涯学習によるまちづくり」を積極的に推進していくことが必要である。

1 学校教育における生涯学習

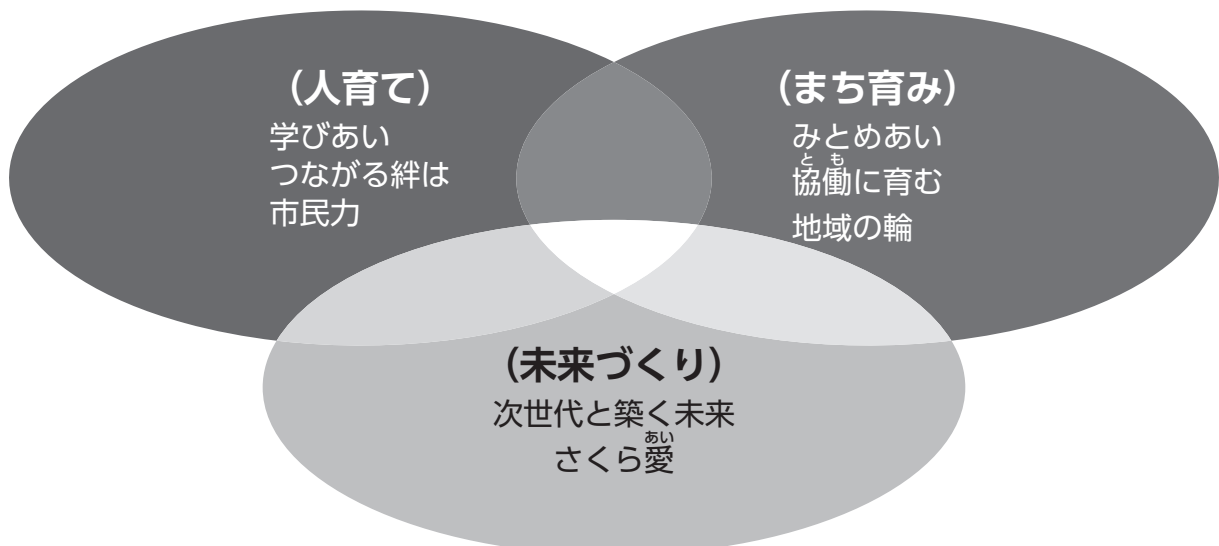
学校教育においては、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育み、生涯にわたる学習の基盤を培う場として、また地域住民の社会参加・貢献の場として、地域の生きた教育資源を活用した教育活動を推進することにより、「地域の学校」として、生涯学習の積極的な推進に努める。

- (1)家庭・地域との連携や体験学習活動等を推進することで、生きる力の育成と、開かれた学校づくりとともに、地域に貢献する学校の推進に努める。
- (2)地域の教育資源を取り込み、教材化を図るとともに、社会教育施設などの積極的活用を努める。

2 社会教育における生涯学習

社会教育においては、市民が生きがいを持って主体的に活動し、行政と協働のまちづくりが展開されることを目指している。目標を「人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実」と設定し、生涯にわたって学び、身心共に健康で自己実現し、社会に貢献できる人づくりを推進することにより、市民による積極的な生涯学習社会形成ができるように努める。

- (1)生涯にわたって学ぶことができる学習機会の一層の充実に努める。
- (2)学習成果を活かす活動を支援し、地域づくりに主体的に取り組む人づくりの推進に努める。



人権教育基本方針

さくら市教育委員会

すべての国民は、日本国憲法によって法の下に平等であり、その基本的人権は何人によっても侵すことのできない永久の権利として保障されている。しかしながら、我が国の現状を見ると、同和問題・障がい者問題等の様々な人権問題が存在していることも事実である。これらの問題の早急な解決は、国及び地方公共団体の責務である。

さくら市教育委員会は、栃木県人権教育基本方針を踏まえ、人権教育を人権尊重の精神の形成を目的とする教育活動ととらえ、人権教育が様々な人権に関する問題解決において極めて大きな役割をもつとの認識のもと、次の基本方針により人権教育を推進する。

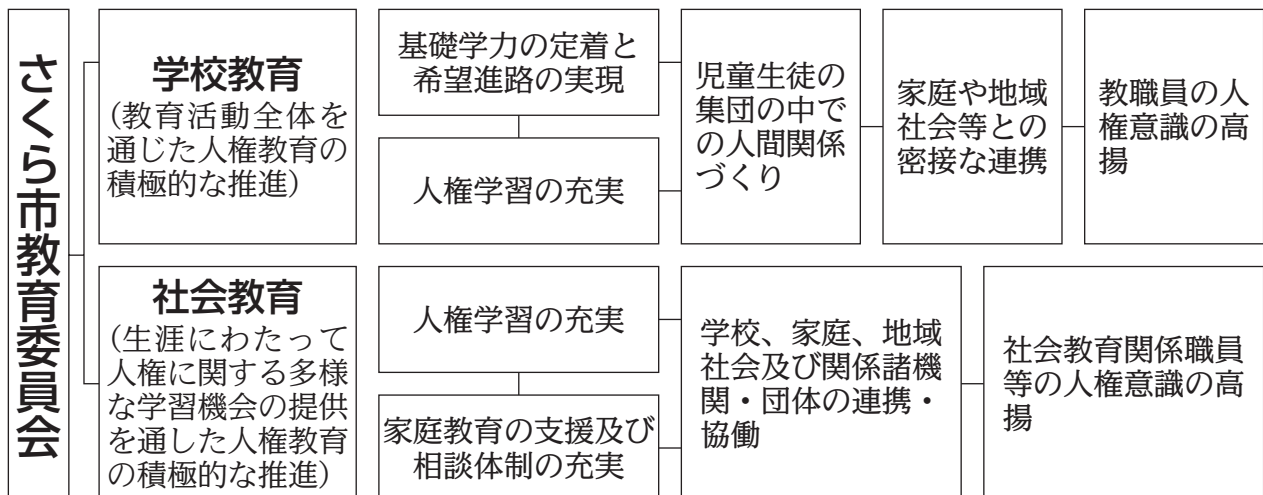
1 学校教育における人権教育

学校教育においては、人権尊重の精神の形成を図ることを目指し、児童・生徒の発達段階に即しながら、教育活動全体を通じて、人権教育の積極的な推進に努める。

- (1)学校教育を通して、児童生徒の集団の中での人間関係づくりに努める。
- (2)家庭や地域社会との緊密な連携を図るとともに、保護者に対する啓発活動に努める。
- (3)各学校における人権教育の課題を明確にし、教職員の共通理解を図るとともに指導内容・方法などの充実・改善に努め、人権意識の高揚を図る。

2 社会教育における人権教育

社会教育においては、人権問題を自らの課題としてとらえるとともに、人権感覚を磨き、日常生活において人権への配慮が態度や行動につながるような人権意識を高め、人権尊重社会の形成者として必要な資質や能力を養うことを目指す。そのために、参加体験型学習(ワークショップ)を取り入れるなど、人権に関する多様な学習機会を提供し、人権尊重の精神の涵養に努める。



II 教育委員会の概要

所在地 〒329-1492

栃木県さくら市喜連川4420番地1

電話 028-686-6620

FAX 028-686-5336

電子メール gakukyo@city.tochigi-sakura.lg.jp

交通 JR宇都宮線 氏家駅下車 関東自動車 フィオーレ線(郵便局前下車)
又は馬頭線(本町下車)乗車時間はいずれも約20分

1 教育委員会委員 (令和2年7月1日現在)



教育長
橋本 啓二



教育長職務代理者
森島 仁



教育委員
鈴木いづみ

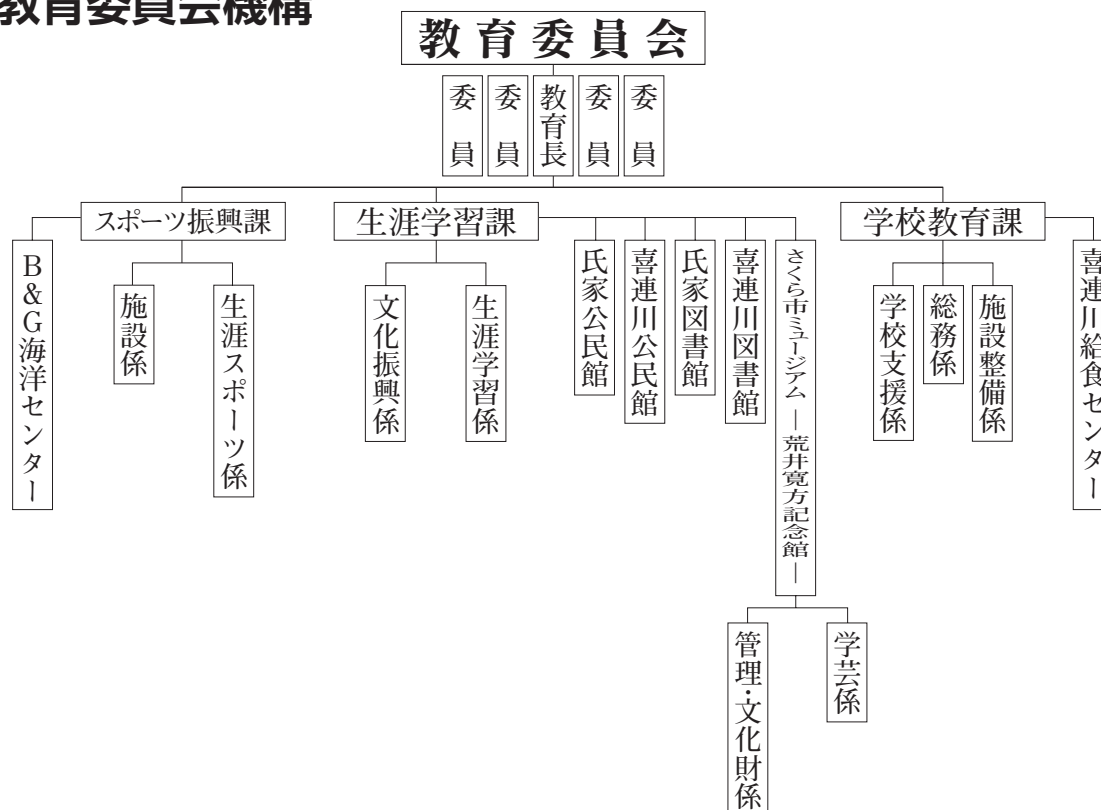


教育委員
稲澤 幸枝



教育委員
中村 浩之

2 教育委員会機構



3 事務分掌

業務分類の単位		業務の概要
学校教育課	総務係	教育備品、教材等の管理に関する事
		条例、規則及び規程の制定並びに改廃に関する事
		給食センター建設に関する事
		教育費調査に関する事
		給食費収納に関する事
		教育備品、教材等の購入計画に関する事
		公文書類、備品等の保管及び管理に関する事
		スクールバスに関する事
		学校教育振興に係る補助事業に関する事
		学校給食に関する事
		奨学金及び奨学生に関する事
		小中学校特別活動費補助金に関する事
		課の庶務に関する事
	施設整備係	学校施設の維持管理及び整備に関する事
		学校施設の長寿命化に関する事
		学校給食センター建設に関する事
		学校情報機器の整備に関する事
		学校情報機器の保守・運用に関する事
		学校用地に関する事
		学校建設に関する事
		学校等の施設台帳に関する事
		学校教育振興に係る補助事業に関する事
	学校支援係	中学校国際交流事業に関する事
		児童・生徒の心臓検診・結核対策委員会に関する事
		学校医に関する事
		通学路安全対策協議会に関する事
		教育支援委員会に関する事

業務分類の単位		業務の概要
学校教育課	学校支援係	児童・生徒指導に関すること
		児童・生徒の教育相談に関すること
		スクールカウンセラーに関すること
		スクールソーシャルワーカーに関すること
		適応支援教室に関すること
		課外スクールに関すること
		コミュニティスクールに関すること
		教職員の研修に関すること
		教育研究団体の運営に関すること
		教育研究所の設置運営に関すること
		教科書採択及び取扱いに関すること
		学力向上に関すること
		学級編制に関すること
		独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること
		学齢児童及び生徒の就学に関すること
		学校保健に関すること
		特別支援教育就学奨励費に関すること
		就学の困難な児童及び生徒の認定に関すること
		教職員の健康管理に関すること
		教員の免許状、教職員の公務災害補償に関すること
市非常勤講師等の賃金に関すること		
校外バスに関すること		
情報教育に関すること		

業務分類の単位		業務の概要
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の推進に関すること
		社会教育の振興に関すること
		家庭教育の支援に関すること
		青少年の健全育成に関すること
		青少年センターに関すること
		成人式に関すること
		社会教育委員会及び公民館運営審議会に関すること
		各生涯学習施設との連絡調整に関すること
		生涯学習・社会教育関係団体の指導育成に関すること
		地域と学校の協働に関すること
		図書館運営等の管理に関すること
		図書館協議会に関すること
		その他、係に関すること
	文化振興係	文化及び芸術の振興に関すること
		文化芸術関係団体に関すること
		博物館との連絡調整に関すること
		その他、係に関すること
	公民館	公民館の運営及び管理に関すること
		公民館講座に関すること
		自治公民館活動、コミュニティ活動の活性化に関すること
花いっぱい運動に関すること		
さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－	管理・文化財係	博物館の施設及び設備の管理並びに整備に関すること
		博物館に係る予算経理その他庶務に関すること
		さくら市博物館協議会に関すること
		さくら市博物館資料評価委員会に関すること
		勝山城跡の整備に関すること
		関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること
		さくら市史編さん委員会に関すること
		文化財の指定に関すること
		文化財の保護に関すること
		埋蔵文化財に関すること
	文化財保護審議会に関すること	
	学芸係	さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－の企画展、講座、体験学習、調査研究等の事業運営に関すること
		博物館資料の専門的及び技術的な調査、保存、活用に関すること
		その他、係に関すること

業務分類の単位		業務の概要
スポーツ振興課	生涯スポーツ係	スポーツ教室、大会等の開催に関すること
		スポーツ団体及びレクリエーション団体の指導育成に関すること
		スポーツ協会その他関係団体に関すること
		スポーツ推進審議会に関すること
		スポーツ推進委員に関すること
		市民体育祭の運営に関すること
		さくら市マラソン大会に関すること
		生涯スポーツの推進に関すること
		課内の庶務に関すること
	施設係	スポーツ施設の設置及び管理に関すること
		さくら市氏家体育館及び喜連川体育館に関すること
		さくら市総合公園の管理に関すること
		さくら市総合公園の再整備計画に関すること
		さくら市総合公園プールの管理及び運営に関すること
		さくら市総合公園さくらスタジアムの管理及び運営に関すること
		プール最適化計画に関すること
		さくら市菖蒲沢公園の管理に関すること
		学校施設の開放に関すること
		さくら市喜連川B&G海洋センターの管理及び運営に関すること
		B&G栃木県連絡協議会の事業に関すること
さくら市鬼怒川運動公園の管理に関すること		
国体開催の準備に関すること		
SAKURAグリーンフィールドの管理に関すること		

4 指標並びに運営方針・努力点

◇さくら市教育委員会

すべての職員が、「一人ひとりの市民が考えるさくら市の教育推進、文化の向上」の具現化を目指し、関係者の努力と相まって生涯学習全般の充実発展を図り、子どもから大人まですべての市民が最大限に伸長する充実した教育・文化活動の支援を期す。

◇さくら市教育委員会運営方針

(1) 基本方針

① 前向きに努力する教育委員会

教育・文化の振興充実の責務を果たすためには、常に担当分野の調査・研究を深め、長期的展望をもつことが大切である。さらに、他との緊密な連絡に努め、調和と統一を保って職務の遂行に当たる。

② 信頼され、親しまれる教育委員会

学校教育・社会教育全般の先導的指導と背後的援助を行い、教育効果を高めることが教育委員会の究極の使命である。従ってすべての面において、すべての関係者から信頼されるよう責任ある執行に努める。さらに各課、各館との連絡を密にし、市民サイドに立った教育行政を推進する。

③ 開かれた教育委員会

各小中学校、家庭・地域及び関係諸団体と十分な連携のもとに、絶えず工夫・改善に努め、明るい雰囲気醸成に努力する。

(2) 努力点

ア 教育委員会各課、各館の分掌事務については、多岐にわたるので必要な場合には全員で処理に当たる。そのために他係との連絡を密にし、また、よりよい人間関係をつくり、和をもって執行することに努める。

イ 情報社会における情報の収集、管理及び保護は極めて重要であり、そのためよりよい方法を工夫改善するように努める。

ウ 研修は、いかなる分野においても必要であって、専門分野はもちろん広く自分自身を高める努力を忘れずに市民、教職員、関係者の信頼を得られるようにする。

エ 学校や市民があつてこそその教育委員会である。従って各学校、市民各位の意見やニーズを十分取り入れ、他機関・団体との連携を密にして、その運営の改善に当たる。

オ 接遇の善し悪しは、信頼につながる問題である。あいさつの徹底、来客の接遇、応接用件の受領、伝達、電話の応対、文書の返信についても誠意をもって当たる。

カ 地方公務員法第35条(職務に専念する義務)に従い、全力で、またサービスの精神で職務を遂行する。

Ⅲ 教育財政

1 令和2年度教育予算

教育費総額(幼稚園費含む)

(単価：千円)

令和2年度	令和元年度	比較増減	総予算額	総予算額に対する割合(%)
2,654,558	2,372,976	281,582	18,300,000	14.51%

教育費総額(幼稚園費除く)

(単価：千円)

区 分 (項)	内 訳 (目)		
1 教育総務費 641,015	(1) 教育委員会費	(2) 事務局費	(3) さくら市教育研究所費
	3,802	442,630	6,631
	(4) 情報環境整備費		
	187,952		
2 小学校費 235,701	(1) 学校管理費	(2) 教育振興費	
	220,638	15,063	
3 中学校費 91,354	(1) 学校管理費	(2) 教育振興費	
	80,675	10,679	
5 社会教育費 593,168	(1) 社会教育総務費	(2) 青少年対策費	(3) 文化財保護費
	92,457	9,246	39,105
	(4) 人権教育推進費	(5) 生涯学習推進費	(6) 公民館費
	25	6,571	217,173
	(7) 図書館費	(8) 博物館費	(9) 郷土史編さん費
	106,850	116,403	5,338
6 保健体育費 596,250	(1) 体育総務費	(2) 体育施設費	(3) 学校給食費
	108,495	258,887	228,868

2 令和2年度主要事業

(単価：千円)

区分 所管	事務事業名	事務事業内容	予算額
学 校 教 育 課	小学校施設補修整備事業	小学校施設の補修全般	26,400
	小学校管理事業	小学校施設の維持管理 ほか	107,515
	小学校長寿命化改良事業	建築基準法第12条点検（上松山小、喜連川小）、氏家小学校アスベスト調査、熟田小学校長寿命化改良工事実施設計	13,330
	中学校施設補修整備事業	中学校施設の補修全般	7,481
	中学校管理事業	中学校施設の維持管理 ほか	49,894
	中学校施設長寿命化改良事業	建築基準法第12条点検（氏家中、喜連川中）、氏家中学校アスベスト調査	5,159
	非常勤講師活用事業	令和2年5月1日現在、48名の非常勤講師等と6名の理科支援員を各学校に配置し、特色ある授業や個に応じた支援の展開、特別に支援を要する児童生徒への細やかな指導を行う。	124,302
	外国語教育推進事業	小学校に市直接雇用の英語指導助手4名と英語活動支援員2名を派遣し、小学校における英語活動、外国語活動の推進を図る。中学校においては、市直接雇用の英語指導助手4名を配置し、言語活動・国際理解教育の推進を図る。	36,986
	スクールカウンセラー活用事業	いじめや不登校等、児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー等を県費で2校、市費で8校に配置し、学校教育相談の充実を図る。また、教育委員会に臨床心理士及びスクールソーシャルワーカー各1名を配置し、保護者や不登校児童生徒などの対応に当たる。	10,124
	学校経営基盤整備事業	学級経営状況を分析するQ-U調査（心理検査）を実施し、望ましい人間関係づくりを指導しながら学級経営の充実そして問題行動等の未然防止を図る。	702

(単価：千円)

区分 所管	事務事業名	事務事業内容	予算額
学 校 教 育 課	教育研究所運営事業 (さくら市教育研究所)	研究校を指定し、新学習指導要領に示される「身につけさせたい力」をつけるため、実践を通じた研究を推進する。教職員の資質向上を図るための各種研修を実施する。	5,782
	適応支援教室運営事業	不登校等の児童生徒が社会的な自立に向けての力を養うための居場所とすることを目的に、さくら市独自の適応支援教室ふれあい学級「つばさ」(平成22年9月に開設)の運営を行う。	8,628
	市立中学校国際交流事業	海外でのホームステイを通し、外国の風土、文化、人々との異文化体験学習から、学ぼうとする意欲や実践力を、また、語学力の向上と国際性豊かな感覚を身に付け、将来の地域社会の発展に貢献できる人を養う。	6,300
	スクールバス管理事業	喜連川小学校児童の登下校のためスクールバス(中型5台、小型2台)を民間委託により運行する。	45,467
	教育支援委員会運営事業	適正な教育支援及び教育的措置を図るためさくら市教育支援委員会を設置し、幼児児童生徒の就学、就学猶予又は減免の措置に関することや、普通教育又は特別支援教育への措置及び教育支援に関するを行う。	203
生 涯 学 習 課	生涯学習推進事業	生涯学習推進体制の整備、計画の推進、生涯学習推進事業(さくら市民大学、でまえ学び塾、ゆめ!さくら博、振興大会)の開催、学習情報提供	6,397
	社会教育・家庭教育支援	家庭教育通信の発行、家族フェスタ開催	1,626
	学社融合促進事業	学校支援地域本部事業・学校開放講座	224
	青少年センター事業	青少年の教育・相談・指導等を目的に運営	2,607
	成人式開催事業	成人式の実施	1,017
	放課後子ども教室推進事業	ふれあいスクール実施	335
	課外「さくらスクール」事業	さくら未来塾の開催、保育園・幼稚園巡回英語塾の開催	3,443
	図書館管理事業	図書館運営	129,279

(単価：千円)

区分 所管	事務事業名	事務事業内容	予算額
ミュージ アム	特別・企画展開催事業	第23回 栃木日展作家展 新収蔵作品展 令和の風 ー変わるもの変わ らないものー 謎解きミュージアム～館長からの挑戦状～ 第80回 国際写真サロン展 第75回 春の院展 栃木展 喜連川足利氏誕生の軌跡～古河公方・小弓公 方～ 第18回 こども絵画展 平山郁夫展～日本の心～ 第24回 栃木日展作家展	13,428
	ミュージアム施設維持管理事業	施設・勝山城跡等の維持管理費	43,412
	さくら市歴史資料保存・ 活用事業	市内所在の歴史資料の調査・保存・活用の推 進 歴史的行政文書の評価選別業務委託料	5,334
	文化財保護事務事業	文化財保護審議会の運営 遺跡詳細分布調査 の実施	7,309
	市指定文化財修理補助事業	市指定文化財の保護修理に対する補助	300
	瀧澤家住宅保存事業	瀧澤家住宅の維持管理	30,988
公民館	氏家公民館運営事業	施設の維持管理	177,243
	喜連川公民館運営事業	施設の維持管理	16,774
	公民館講座事業	学級・講座の実施	1,596
	自治公民館事業	自治公民館活用事業の実施	55
	自治公民館運営補助事業	補助金の交付	1,704
	自治公民館連絡協議会補助事業	補助金の交付	146
	自治公民館建設補助事業	補助金の交付	650
	花いっぱい運動推進事業	花いっぱい運動の推進	600
スポ ーツ 振興 課	スポーツ推進審議会・ スポーツ推進委員設置事業	ニュースポーツの普及・各種スポーツ事業へ の参加	1,358
	各種スポーツ大会・教室開催 事業	スポーツ教室・市民ハイキング・市民体育祭・ さくら市マラソン大会等の開催、県民スポ ーツ大会・地区スポーツ大会・地区駅伝大会等 への参加	22,209
	各種体育施設管理事業	氏家体育館等体育施設管理費、総合公園（野 球・テニスコート・スタジアム）等有料公園、 SAKURAグリーンフィールド施設管理費、 小学校体育館等の開放管理費、国体推進費	225,383
	プール開設事業	市内のプール開設に伴う管理費	33,504

Ⅳ 学校教育

1 基本方針

現行の学習指導要領では、完全学校週五日制のもと、特色ある教育活動を展開し、子どもたち一人一人の「生きる力」を培うことを基本的なねらいとしている。この理念は、令和2年度以降に実施される新学習指導要領(小・中)においても同様である。

さくら市教育委員会としても、この学習指導要領の趣旨を十分理解し、さくら市教育目標を達成すべく、さくら市学校教育目標「一人一人に生きる力の育成をめざす学校教育の充実」を基に学校教育を推進していく。

2 今年度の重要施策と具体策

		重要施策	具体策
Ⅰ 生きて働く知識・技術の習得	1 確かな学力の育成	①深い学びに向けた授業推進	ア 市授業力向上研修 イ 学校課題・研究授業支援 ウ 学力向上推進リーダー派遣事業
		②各種調査の実施と結果活用	ア 国・県・市の学力調査 イ 学力向上推進研修会
		③個に応じた指導	ア MIMの活用
	2 健やかな体の育成	①食育の推進	ア 栄養教師、栄養職員のT・T授業推進 イ お弁当の日を活用した食育啓発 ウ 親子料理教室の実施 エ 市採用栄養士の配置による支援
		②体力の向上	ア 全国体力・運動習慣状況調査の活用
Ⅱ 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の育成	3 豊かな心の育成	①相手を思いやる心の教育の推進	ア 道徳教育の推進 イ 人権教育実践研究
		②読書活動の推進	ア 読書活動推進員(図書事務員)の運用 イ 朝の読書活動の推進 ウ 家読の推進

		重要施策	具体策
Ⅱ 学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の育成	4 特別支援教育の充実	①早期教育相談の充実	ア 早期教育相談会の実施 イ 市保健センター早期教育相談（とまと教室、のびのび発達相談）との連携 ウ 専門家や関係機関との連携
		②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援	ア 個別の支援教室の設置・運営 イ 合理的配慮の提供 ウ 訪問型支援・相談の実施
	5 問題行動（いじめ・不登校等）の未然防止・対応	[防止] ①望ましい学級・集団づくりの推進	ア Q-U調査の実施と活用による学級集団づくりの推進【学級経営基盤整備事業】 イ 各校における望ましい人間関係づくりの推進
		[対応] ②悩みを抱える子ども、保護者等の支援	ア さくら市適応支援教室「つばさ」の充実
		[防止] ③情報モラル教育の充実	ア ネットいじめ防止講演会
Ⅲ 未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	6 校種間の円滑な接続	①小中一貫教育の実践	ア さくら市小中一貫教育全体構想（市内全小中学校）
		②幼・保・小の連携推進	ア 幼・保・小が連携した活動の推進【幼・保・小連絡協議会】
	7 地域学習・国際理解教育の推進	①地域学習、体験活動の推進	ア 校外バス借り上げによる体験活動推進 イ ボランティアの推進
		②国際理解教育の推進	ア 英検助成 イ ALTによる小中学生の学習支援【英会話体験事業（さくら英語体験村）】
	8 特色ある学校づくり	①教育研究所による研究指定	ア 教育研究所研究指定
②総合的な学習の時間や少人数指導等創意工夫を生かした教育活動		ア 総合的な学習の時間の指導計画検討会議	

	重要施策	具体策
Ⅰ 教育の資質向上	①教師の使命感・専門性の向上	ア 指導力向上研修の充実 イ 先進的教育の研究
	②教師の総合的な人間力の向上	ア 接遇の向上 イ 保護者や地域の方との連携・協力
	③特別支援教育への理解促進	ア 教員対象の講演会
Ⅱ 学校の指導体制の整備	①非常勤講師等配置	ア 非常勤講師等配置の充実
	②不登校への対応強化	ア 適応支援連絡会議 イ 専門職の活用 ウ 訪問型支援の実施
	③教育相談体制の充実	ア 専門家の効果的な活用
Ⅲ 教育環境の整備	①信頼される学校づくりの推進	ア ホームページの活用 イ 道徳の時間を中心とした地域への授業公開の推進
	②業務改善計画の一層の推進	ア 職員間の業務の平準化についての研究 イ 会議・打合せを効率化するための方策についての研究 ウ 学校行事の負担を軽減するための方策の検討
	③ICT機器の充実	ア GIGAスクールの推進
	④防災教育の推進	ア 防災館見学の実施
	⑤施設の整備	ア 学校給食センターの整備検討 イ 長寿命化計画に基づく整備

3 さくら市立学校の概要

(1)各学校の教育目標と学校課題(研究課題)

	学校名	教育目標	学校課題(研究課題)
1	氏家小学校	<p>豊かな心と自ら学ぶ意欲をもつたくましい児童を育成する</p> <p>よく考える子(かしこさ) なかよくする子(やさしさ) 体をきたえる子(たくましさ)</p> <p>めざす学校像:「すべての子どもが輝く学校」</p>	<p>主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <p>～ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業づくりを通して～</p>
2	押上小学校	<p>豊かな心と主体的に学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童を育てる。</p> <p>なかよくする子(やさしく) かながえる子(かしこく) たくましい子(たくましく)</p>	<p>主体的・協働的な学びを実現する授業改善</p> <p>～「教材提示・問い返し・振り返り」の充実を通して～</p>
3	熟田小学校	<p>自らの夢に向かって未来を力強く切り拓いていく意欲をもった児童を育成する。</p> <p>○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子</p>	<p>学ぶ意欲にあふれた児童の育成</p> <p>～学びの質の向上のための工夫～</p>
4	上松山小学校	<p>社会の変化に自ら対応でき、創造性に満ち、健康でたくましく、心豊かな人間の育成を図る。</p> <p>かながえる子(かしこさ) なかよくする子(やさしさ) げんきな子(たくましさ)</p>	<p>主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善</p> <p>～協働的な学びによる知識・技能の活用～</p>
5	南小学校	<p>人間尊重の教育を基盤に豊かな心をもち、主体的に生きていくことのできる心身ともに健康でたくましい人間の育成を目指す。</p> <p>基本目標 たくましい子 具体目標 よく考えて勉強する子(かしこさ) 思いやりのある子(やさしさ) からだを丈夫にする子(たくましさ) 「一人一人が主役『明るく楽しく輝く』緑の南小学校」</p>	<p>自分の考えを広げ、深める「対話的な学び」の実現を目指して</p> <p>～国語科・算数科の授業改善と学習指導法の工夫～</p>

	学校名	教育目標	学校課題(研究課題)
6	喜連川小学校	<p>知育、徳育、体育の調和を図り、「生きる力」を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学ぶ子（確かな学力） ○ 思いやりのある子（豊かな心） ○ 健康な子（健やかな体） <p>～一人一人が尊重され、きらきら輝き、存在感のもてる学校づくり～</p>	<p>自ら学び、豊かに表現する児童の育成</p> <p>～「書く」活動を通して～</p>
7	氏家中学校	<p>知育・徳育・体育の調和を図り「意欲的に学び、豊かな心をもち、たくましく生きる」生徒を育てる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学業に全力を尽くす生徒 2 情操豊かで思いやりのある生徒 3 健康で気力ある生徒 4 進んで働く生徒 	<p>道徳科における評価の工夫</p> <p>～学習状況の見とりを通して～</p>
8	喜連川中学校	<p>夢を持ちふるさとを愛し、ともに、よりよい未来を求めて自己の可能性に積極的に挑戦する生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぶ生徒 ○思いやりのある生徒 ○健康な生徒 ○働く生徒 	<p>自ら学び、豊かに表現する生徒の育成</p> <p>～「書く」活動を通して～</p>

(2)小中学校施設状況

学 校 名	校 地		校 舎				
	面積㎡	児童1人 当たり㎡	建設年月日	構 造	面積㎡	児童1人 当たり㎡	普通教室
氏 家 小	34,710	45.07	北：S48年3月、9月 南：S50年3月、6月 東：H27年3月	鉄筋コンクリート	7,848	10.19	29
押 上 小	30,628	223.56	H1年8月	鉄筋コンクリート	3,951	28.83	6
熟 田 小	29,518	194.19	東：S46年2月 西：S63年1月	鉄筋コンクリート	3,731	24.54	7
上 松 山 小	30,676	61.84	東：S54年3月、6月 西：S62年3月 新築：R2年3月	鉄筋コンクリート	5,053	10.18	19
南 小	42,357	76.31	南：S53年3月 北：H26年7月	鉄筋コンクリート	5,869	10.57	21
喜 連 川 小	26,116	62.03	H21年10月	鉄筋コンクリート	6,328	15.03	17
氏 家 中	70,645	70.01	北：S58年2月 南：S59年7月	鉄筋コンクリート	9,063	8.98	33
喜 連 川 中	73,329	305.53	S57年9月	鉄筋コンクリート	4,894	20.39	12

(3)教職員数

学校名	県 費 教 職 員															
	校 長		教 頭		主幹教諭		教 諭		助教諭・講師		養護教諭		養護助教授		事務職員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
氏 家 小	1		1	1	1		14	23	1	1		2				2
押 上 小	1		1				3	4	1			1				1
熟 田 小	1			1			5	4				1				1
上 松 山 小	1			1			8	13		1		1				1
南 小	1			1			11	16	1	4		1				1
喜 連 川 小		1	1				8	14				1				2
氏 家 中	1		1	1	1		31	23	2	4		1				1
喜 連 川 中	1		1				8	11	1	1		1				1

保有教室 特別教室	屋内運動場				プール	
	建設年月日	構造	面積㎡	児童1人 当たり㎡	建設年月日	コース数
18	S51年9月	鉄骨	1,198	1.55	H3年3月	8
7	H2年2月	鉄筋コンクリート	923	6.73	H2年2月	6
15	S56年3月	鉄骨	878	5.77	H5年3月	6
13	S55年3月	鉄骨	742	1.49	H10年3月	6
16	S53年3月	鉄骨	742	1.33	H7年3月	6
20	H2年3月	鉄骨	1,092	2.59	H2年5月	8
25	第1屋内運動場 S56年3月	鉄骨	1,848	1.83	H5年3月	9
	第2屋内運動場 H28年10月	鉄筋コンクリート	2,507	2.48		
21	S58年3月	鉄骨	1,293	5.38	S63年6月	7

(令和2年5月1日現在)

栄養教諭・ 栄養職員		計			市職員									総計	
					非常勤 講師等 科支援員	勤 理 員	英語指導 助手・英語 活動支援員	栄養士		図書 事務員	労務職員		給食 配膳員		計
男	女	男	女	計	臨	臨	正	臨	臨	正	臨	臨	正	臨	
	1	18	30	48	12	2			1		1		0	16	64
	1	7	6	13	5	1			1		1		0	8	21
		6	7	13	5				1		1	1	0	8	21
		10	16	26	9	1	1		1		1		1	12	38
	1	13	24	37	10				1		1		0	12	49
	1	11	17	28	9	2			1		1	2	0	15	43
	1	37	31	68	4	4			1	1	1		1	10	78
		11	14	25	3	1			1		1	1	0	7	32

※産休、育休、内地留学、大学院派遣、在学教育施設派遣等を含める

(4)学校所在地及び児童生徒数

学校名	校長名	所在地	創立年月日	電話番号				
					1年		2年	
					人数	学級数	人数	学級数
氏家小	北原 博司	さくら市氏家2491	明6.2.28	682-2758	108	4	112	4
押上小	杉山 敏明	長久保814	明8.3	682-6844	21	1	18	1
熟田小	鈴木 勝久	挾間田1702	明4.4	682-6850	32	1	27	1
上松山小	小竹 伸一	氏家3496	明26.1.7	682-5719	79	3	93	3
南小	沼尾 昇	氏家1061-3	昭53.4.8	682-9494	94	3	99	3
喜連川小	鈴木 厚子	喜連川3911	明6.5.26	686-2029	59	2	71	3
計					393	14	420	15
氏家中	藤田 尚徳	氏家3243	昭22.4.1	682-2204	336	10	348	10
喜連川中	横須賀好市	喜連川5691	昭58.4.1	686-2058	72	3	73	3
計					421	13	384	12

※うの花分教室は含みません。

(令和2年5月1日現在)

学年別児童生徒数・学級数										計		
3年		4年		5年		6年		特別支援学級		人数	学級数	
人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数		通常学級	特支学級
125	4	121	4	139	4	134	4	31	5	770	24	5
21	1	22	1	33	1	22	1			137	6	0
17	1	22	1	21	1	28	1	5	1	152	6	1
68	2	82	3	90	3	70	3	14	2	496	17	2
87	3	88	3	87	3	81	3	19	3	555	18	3
62	2	73	3	57	2	87	3	12	2	421	15	2
380	13	408	15	427	14	422	15	81	13	2531	86	13
303	9							22	4	1009	29	4
79	3							16	3	240	9	3
382	11							38	7	1249	37	7
合 計								119	20	3780	123	20

4 教育諸団体の事業計画

さくら市では、教職員の資質向上と学校教育の推進を図るため、予算計上を行うとともに、各種研修事業等を行っている。

(1)教育諸団体

名 称	対 象	期 日	内 容
校長会 (会長：杉山 敏明)	小中学校長	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育全般及び基本問題に関すること ・課題研修についての協議
教育会 (会長：横須賀好市)	全教職員	必要回数	<ul style="list-style-type: none"> ・会員相互の学術向上、親睦を深めること ・各種スポーツ大会への参加
教頭会 (会長：齋藤 孝之)	小中学校 教頭	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動の計画・立案・運営に関すること ・課題研修についての協議
主幹教諭・教務主任会 (会長：田島 照明)	小中学校 教務主任	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の教育課程実施上の課題に関すること ・課題研修についての協議
学校事務部会 (会長：和田 利江)	小中学校 事務職員	必要回数	<ul style="list-style-type: none"> ・財政事務の適正化・円滑化に関すること ・事務改善についての研修
学校保健会 (会長：杉山 敏明)	保健主事、 養護教諭等	必要回数	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健に関すること ・学校保健の充実についての研修
特別支援教育研究会 (会長：沼尾 昇)	特別支援学 級設置校長	必要回数	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の学習指導、学級経営についての研修 ・関連行事の計画・運営に関すること
教育支援委員会 (会長：藤田 尚徳)	委員委嘱	年3～4回	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援に関すること ・特別支援教育に関する研究
幼稚園・保育園・小学 校連絡協議会 (会長：北原 博司)	運営委員	合同研修、 ブロックご とに随時	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園・小学校の連携に関すること ・子どもの学びと育ちに関する研修

(2) さくら市教育研究所

さくら市では地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、教育に関する調査研究及び教育関係職員の研修を行うために、「さくら市教育研究所」を設置する。

1 調査研究

学校教育における基本的・今日的課題についての調査研究を行い、今後の指導の充実を図る。

(1) 指定校研究「生きて働く知識・技能の習得」のための実践研究事業

「学びに向かう力・人間性」を育成するための実践研究事業

「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」を育成するための実践研究事業

- ・研究内容 研究校にて進め、成果を市内に広げる。

研究課題と研究校は次のとおり。

- ①MIM実践研究(全小学校、上松山小中心)
- ②学力向上推進リーダーの配置による学力向上実践研究(氏小、熟小、南小)
- ③健やかな体づくりのための食育推進研究(栄養職員部会)
- ④学習者用デジタル教科書の実践研究(熟小)
- ⑤道徳教育の充実に向けた実践研究(喜連川中)
- ⑥人権教育研究指定校事業(喜小)
- ⑦小中一貫教育のための実践研究(全小中学校)
- ⑧先進的教育の研究(全小中学校、2～9年目教員)
- ⑨コミュニティ・スクールの導入に向けた実践研究(喜小、氏中、喜中)
- ⑩働き方改革推進のための実践研究(市内全小中学校)

(2) 調査研究「さくら市児童生徒の学力向上について」

- ・調査内容 全国学力・学習状況調査や県版学力調査・市学力調査をふまえた、さくら市の児童生徒の学力向上策を検討する。

(3) 研究奨励

- ・奨励金により個人の研修補助、研究団体等の研究を奨励する。

2 教育相談

さくら市子どもや保護者との共感的理解に基づいた教育相談の充実を図る。

- ・教育相談員 3名(適応支援教室つばさに配置)

3 教職員研修

さくら市学校教職員の研修を設け、教育職員としての専門性の向上を図る。

	研修名	対象	期日(目安)	内容
1	学力向上推進研修	学力向上担当者など(各校1名以上)	4月16日 10月 2月	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意義を子どもたちにどう伝えるかについて協議する。また、宿題の在り方について検討する。3回目については専門家の講話等を通して、学力向上の方策を図る。 【講師：未定】
2	情報教育推進委員会	校長代表1名 情報主任など(各校1名)	年2回	<ul style="list-style-type: none"> GIGAスクール構想により、1人1台のタブレット端末が整備されるのを受け、効果的な利用法を協議する。また、オンライン会議やオンライン授業のやり方について研修を深める。
3	MIM研修	管理職・担当者・1、2年担任	9月 12月 1月	<ul style="list-style-type: none"> 多層指導モデルMIMに取り組み、流暢性のある読みの力を育てる手法について学ぶ。
4	コミュニティ・スクールについて	喜小・氏中・喜中関係教職員	9月 1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの推進により、学校・家庭・地域の組織的な連携の在り方を探り、学校運営体制の強化に向けて、教職員が進めていくことを考える機会とする。 【講師：一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事廣瀬隆人様】
5	シリーズ研修 [S I] 市非常勤教育職員スキル&フォローアップ研修 ○市非常勤教育職員のスキルアップとフォローアップを目指す研修です。	市採用非常勤教育職員 Aの一部については希望者も参加可	別紙計画にて実施(全2回)	A スキルアップ編 《研修の詳細は別途連絡》 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒指導や特別支援教育等、非常勤教育職員の方々のスキルアップを目指す。
			後日調整 各校にて実施	B フォローアップ編 《研修の詳細は別途連絡》 <ul style="list-style-type: none"> 市教委職員が学校に伺い、授業参観や面接をとおして、非常勤教育職員の方々のフォローアップを行う。
6	シリーズ研修 [S II] 学校図書事務研修 ○読書活動推進を目指す研修です。	市採用図書事務員	別紙計画にて実施(月1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> 図書事務員のスキルアップとネットワークづくりを目指した研修です。電算化された学校図書の活用や、子どもたちの読書活動の推進を図る方策も考える。《研修の詳細は別途連絡》
7	シリーズ研修 [S III] 理科支援員研修 ○実験の準備や片付け、授業の補助に関する研修です。	市採用理科支援員	別紙計画にて実施(月1回程度)	<ul style="list-style-type: none"> 理科支援員のスキルアップとネットワークづくりを目指した研修です。実験などの準備や片付けの仕方や、授業中の支援の在り方を考える。《研修の詳細は別途連絡》

	研修名	対象	期日(目安)	内容
8	シリーズ研修 [SV] 個別の支援教室支援員研修 ○個別の支援教室のあり方についての研修です。	個別の支援教室支援員	別紙計画にて実施(年5回程度)	<ul style="list-style-type: none"> 個別の支援教室を担当している支援員どうしで情報交換をしながら、よりよい支援のあり方、教室の運営などを協議する。
9	シリーズ研修 [SV] ALT・英語専科教員・英語活動支援員研修 ○外国語活動や英語活動、中学校の外国語科の授業の工夫についての研修です。	ALT英語専科教員英語活動支援員	別紙計画にて実施(年5回程度)	<ul style="list-style-type: none"> ALT・英語専科教員・英語活動支援員どうしで情報交換をしながら、資質の向上を目指す。授業の工夫について考えることにより、学習指導に役立て、指導力の向上を図る。
10	先進的教育の実践研修	市内2～9年目教員及び講師	別紙計画にて実施(年2回程度)	<ul style="list-style-type: none"> 「学力向上」、「道徳」、「タブレット活用」、「小学校外国語」の4つのテーマから選択した課題について授業研究会などを通して追求していく。

5 令和2年度研究学校・研究事業等について

指定	No	研究領域・事業名	指定期間	指定校等
文部科学省	1	スクールカウンセラー活用事業	令和2年度	(拠点校) 氏家中 喜連川中
	2	スクールソーシャルワーカー活用事業	令和2年度	全小中学校
	3	部活動指導員配置事業	令和2年度	喜連川中
	4	人権教育研究指定校事業	令和2年度	喜連川小
	5	道徳教育応援チーム派遣事業	令和2年度	喜連川中
県教委	6	学力向上リーダー配置事業	令和2年度	氏家小 熟田小 南小
	7	小動物飼育指導担当教員研修事業	令和2年度	押上小
市教委・市教研	8	MIM実践研究	令和2年度	上松山小
	9	学力向上推進リーダーの配置による学力向上推進研究	令和2年度	氏家小 熟田小 南小
	10	健やかな体づくりのための食育推進研究	令和2年度	献立研究会（栄養士、栄養教諭）
	11	実 学習者用デジタル教科書の実践研究	令和2年度	熟田小
	12	実践 道徳教育の充実に向けた実践研究	令和2年度	喜連川中
	13	研究 人権教育研究指定校事業	令和2年度	喜連川小
	14	事業 小中一貫教育のための実践研究	令和2年度	全小中学校
	15	先進的教育の研究	令和2年度	全小中学校 (2～9年目教員)
	16	コミュニティ・スクールの導入に向けた実践研究	令和2年度	喜連川小 氏家中 喜連川中
	17	業務改善に向けた実践研究	令和2年度	全小中学校
18	理科支援員配置事業	令和2年度	全小学校	

6 喜連川給食センター

今日、国民生活の繁栄の中で、生活様式には多様化が見られるようになってきている。児童・生徒の体位も食生活の改善によって欧米並みに向上しているが、その反面、栄養の偏りによる生活習慣病や不規則な食生活(孤食や朝食ぬき)、運動不足による肥満、貧血などが見られる。

このため、成長期にある児童・生徒の健康の増進と体位の向上に努めるため、学校給食においては、栄養バランスのとれた質の高い給食サービスに努め、学校・家庭と連携して食生活の指導を行いながら心身ともに健全で健康な児童・生徒の育成に努める。

(1)本年度の努力点

- 1 楽しい、魅力ある学校給食にするため、創造性のある献立と栄養バランスを配慮した給食づくりに努める。
- 2 学校給食の献立と栄養バランスをわかりやすく家庭に周知することに努める。
- 3 良質な食材料の確保と調理法の創意工夫により食事内容の充実を図る。
- 4 調理技術及び衛生管理の向上を図り、学校給食を能率的衛生的に実施することに努める。

(2)食中毒防止対策

〈調理員に対する衛生管理〉

作業開始前に、健康状態、衛生面について検査の徹底。

手指に化膿した傷等がある場合は、給食調理作業に従事させない。

作業区分ごとの手洗い、手指消毒の徹底。

腸内検査及びノロウイルス検査の徹底。

〈調理器具の消毒〉

調理台、調理器具、コンテナなどの器具は、薬品を使用のうえ消毒実施徹底。

〈納入食品の安全確認〉

納入日時、品名、規格、数量、期限表示、製造、販売業者名、生産地、納入業者名など、検収表に記入。安全性確認及び記録の徹底。

〈食品の加熱処理〉

食品は加熱調理(くだものは除く)。

中心温度計を用い、食品の中心温度が85℃以上1分間になったことの確認及び記録の徹底。

(3)学校給食の概要

1 形態 完全給食(週5日…米飯週3日・パン週2日)

2 給食回数等

(4月1日現在)

	給食回数 (年間)			1食当たりの量			給食費 (月額)
	米飯 回	パン 回	牛乳 回	米飯	パン	牛乳	
小学校	127	62	189	低学年 70g 中学年 80g 高学年 100g	1~3年 45g 4~6年 60g	200cc	(年11回徴収) 4,420円
中学校	126	63	189	110g	60g	200cc	(年11回徴収) 5,200円

(4)給食数

(4月1日現在)

	児童・生徒数	職員数	計	学級数
喜連川小	419	40	459	16
熟田小	152	20	172	6
喜連川中	233	31	264	10
喜連川給食センター		19	19	
合計	817	114	931	32

各学校の職員数及び喜連川給食センター職員数には、保存食(1)が含まれています。

V 生涯学習・社会教育

1-1 生涯学習・社会教育の基本方針

さくら市第2次総合計画が将来都市像として掲げる「安心して暮らせ、地域・ひと・ものを結ぶ、魅力いっぱいのまち」実現のために、『文化薫る心豊かな人材の育成』と、さくら市教育目標である『心身共に健康で生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり』を目指す行政運営を行う。

また、「多様で専門的な学習ニーズや地域課題に対する学習環境の整備を充実させるとともに、学校・家庭・地域社会の連携促進の支援」や「市民一人ひとりが自主的な生涯学習活動で習得した成果を地域活動に活かし、市民と行政による協働のまちづくり」を展開する施策に取り組む。

また、人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実のため、地域社会における成人の学習機会の充実と学習成果が循環する環境づくりに努める。

1-2 本年度の重点目標

(1)生涯学習の推進

① 生涯学習推進体制の整備

生涯学習によるまちづくりを総合的、効果的に推進するため、NPO、ボランティアなど様々な団体や個人と行政が協働し、それぞれの役割を分担し、互いの力が発揮できるような生涯学習推進体制の充実を目指す。

② 学習情報提供の充実

市民の学習活動を支援し多様な学習ニーズに応えるために、生涯学習関連施設のみならず多方面の情報収集に努めるとともに、多様な媒体を活用し広く市民への学習機会の情報提供に努める。

③ 学習機会の充実

生涯学習によるまちづくりのために、生涯にわたる学習機会の提供とその学習の成果や人生経験で得た知恵などを生かす機会の充実を図る。

(2)社会教育の推進

① 家庭教育の推進

家庭教育学習の多様な情報を提供する。また、関係機関・団体等と連携を図りながら家庭教育や子育て情報に関する講座や相談体制の充実を図り、きめ細やかな家庭教育支援に努める。

② 成人教育の推進

市民一人ひとりに対し、家庭生活、社会生活等について学習する機会を提供し、人間としてより豊かな生活を営み、より豊かな地域社会を創造することができるよう、成人教育の充実を図る。

③ 高齢者教育の推進

高齢期を生きがいに満ちた豊かで充実した生活を送るために、関係機関と連携を図りながら、高齢者の社会参加意欲の高揚、情報の提供、指導者の養成、ボランティア活動等の基盤整備を推進する。

④ 地域の教育力の向上

核家族化や少子化により地域のつながりが希薄化している現在、地域の学習施設を活用した体験学習の提供や、地域ぐるみで子どもたちを守り育む交流学习を通じて、地域・家庭の教育力の向上につなげる。

⑤ 青少年教育の推進

青少年が社会性や公共性を身に付けるために社会参加活動をさらに充実し、青少年の活動意欲の向上、団体活動の育成・支援を積極的に推進する。

(3)人権教育の推進

人間の尊厳を大切にした地域社会づくりを目指した学習活動をすすめて、人権意識の高揚を目指す。

(4)学校及び社会教育関係団体との連携

① 児童生徒地域活動の推進

児童生徒の地域活動促進を図るため、青少年ボランティア活動の機会を拡充するとともに、地域の指導者のもと、身近な設備を利用した文化・スポーツ活動、ボランティア活動などの社会参加活動を促進する。

② 社会教育関係団体の育成

各種社会教育関係団体の育成に努め、市民一人ひとりが生涯学習に意欲的に取り組み、より充実した生活が営めるよう学習相談等支援を行う。

③ 地域の教育力の向上

青少年指導者の育成や地域のさまざまな学校支援によりふれあい学習による地域づくりを促進する。

(5)文化活動の振興

地域に根ざした芸術・文化活動の育成と質の高い文化事業を定期的で開催することで、文化に対する理解の向上を目指し、さらに、市民参加や参画の推進を図る。

(6)社会教育施設事業の推進

① 公民館事業の推進

市民の学習需要に対し総合的に応える社会教育施設として、各種設備機器の整備を推進する。また、市民の学習要求や地域の特性を生かした学習機会の提供に努め、生活文化の向上を目指すとともに、各地区の自治公民館を中心として地域住民が自主的・主体的に学習活動が展開できるよう、ネットワーク化の推進を図る。

② 図書館事業の推進

生涯学習の情報発信基地として、また市民の憩いの空間として、さらに市民参加による市民のための図書館として、資料の整備及び各種の図書館サービスの充実に努めるとともに、多くの市民の利用を促進するため、広報活動の強化や各種事業の実施等の対策を推進する。

さらに、利用者のニーズに迅速かつ的確に対応するため、図書館情報システムの一層の整備を図る。

③ さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—の事業の推進

生涯学習によるまちづくりの推進のため、地域の歴史・文化に関する資料を収集・保存して後世に伝えるとともに、人々が交流し、新しい文化活動の拠点として、ミュージアム活動を展開する。

2-1 本年度の主な施策と事業計画

(1)生涯学習の推進

① 第二次生涯学習推進計画の推進

第二次生涯学習推進計画に基づき、市民との協働による「“学びあい”と“生かしあい”の“まち育み”」に取り組む。

② 生涯学習推進重点プロジェクト事業の実施

第一次計画で推進してきた「人づくり」「まちづくり」を発展させ、「人育て」「まち育み」を推進するとともに、これからのさくら市を担っていく青少年に焦点を当てた「未来づくり」を新たな重点プロジェクトに加え、3つの柱で生涯学習によるまちづくりに取り組む。

③ 生涯学習情報・相談事業の実施

市民の学習活動を支援し多様な学習ニーズに応えるために、多方面の情報収集に努めるとともに様々な媒体を活用し広く市民への学習機会の情報を提供する。また、市民等の要請に応じて学習相談を随時行う。

④ 生涯学習推進事業の実施

○事業名 さくら市民大学(さくら学)

事業内容 重点プロジェクトのテーマに沿った講座を開催し、幅広い年齢層から受講者を募集する。受講者には、講座修了後にもさくら学で学んだ成果を生かせるような機会を設けるなどフォローアップを行う。

○事業名 でまえ学び塾

事業内容 市民、企業(商店)、公共機関・公益企業や行政が様々な学習メニューを用意し、希望者に学習機会を提供することにより、生涯学習の振興や講師と受講者相互の交流を図る。また、新規講師の登録を進めることで市民ニーズに対応する選択肢の幅を広げ、いつでも、どこでも、だれでも生涯学習にふれることができる環境を整備する。

講座数 154講座(市民編82、行政編67、公共機関・公益企業編 5)



生涯学習振興大会



さくら市学びガイド2020



市民大学
「学習支援ボランティア養成講座」



でまえ学び塾
「一緒になつかしいあそびをしませんか」

○事業名 ゆめ!さくら博

事業内容 市民と行政の出店者等が一体となり、実行委員会を組織し、市民への体験の提供や、作品展示などを行う。また、市民の学びの成果や行政の取り組み等を紹介することで、市民に生涯学習への理解と学びへのきっかけづくりを図る。



ゆめ!さくら博2019

その他、生涯学習振興大会などを実施することで、市民が生涯学習に触れる機会を設ける。

(2)成人教育の推進

① 家庭教育の充実

○事業名 家庭教育支援講座

事業内容 家庭教育支援を推進するため、庁内組織の横断的な連携と家庭教育支援チームなどの子育てボランティアが連携し家庭教育支援に関する研修や講座を実施する。

○事業名 親子応援講座

事業内容 学習機会に参加しにくい親にも家庭教育の重要性を啓発するため、各小学校の就学時健康診断を利用して、家庭教育オピニオンリーダー等の地域子育てサポーターが保護者に対し講座を実施する。

○事業名 家族フェスタ

事業内容 「家庭のふれあい」をテーマに家庭教育支援チーム、オピニオンリーダーなどの市民ボランティアとの協働で、親子で楽しめる様々な体験を提供する。

○事業名 ひだまりふぁんの会

事業内容 子育てに必要な知識や子どもとのかかわり方を学ぶための専門家による講座を開催するとともに、保護者同士が子育てについての悩み等を話し合う場を提供する。



家族フェスタ2019

(3)青少年健全育成と家庭・地域の教育力の向上

① 青少年センターによる青少年健全育成活動

事業内容 青少年センターの機能(指導・相談・教育)を柱に、関係機関との連携を図り

青少年健全育成に取り組む。また、市民ボランティアによる少年育成サポーターがセンター活動の主体となり「体験活動班」「研修班」「広報啓発班」「ITC 研究班」の4班を編成し、それぞれが独創的な活動を実践する。

② 青少年ボランティア活動事業

事業内容 小学生から高校生までの青少年に、ボランティアとして活動する機会と場を提供するために「さくらユースボランティア」を組織し、活動のコーディネートを行う。

③ 放課後子ども教室推進事業

事業内容 喜連川小学校区と押上小学校区の2地区で実施。地域の大人が指導者となり、放課後の子どもの安全な居場所の提供と地域のボランティアとの交流により子どもの健全育成を図る。

④ さくら未来塾

事業内容 さくら市子ども達の「気力・体力・学力」を総合的に育むため、さくら未来塾を開設し、ぐんぐん学力アップコース(中学生コース・小学生コース)とわくわく体験コース(小学生コースのみ)により、子ども達に多くの学びの機会を設ける。

(4)社会教育と学校教育の協働推進

① さくら市地域学校協働本部運営委員会

事業内容 学校支援活動の充実を図るために市内の全ての小、中学校に地域学校協働本部事業を展開し、校内における組織づくりやコーディネートシステムの構築、見通しをもった支援のための研修の工夫などに取り組む。また、事業の成果を市内の小中学校へ伝えることで「地域と共に歩む学校づくり」の推進を行う。

② さくら市地域学校協働本部



体験活動班



さくらユースボランティア
(公民館の花植え)



放課後子ども教室



さくら未来塾



地域学校協働活動

事業内容 喜連川小学校地域応援隊や氏家小学校SUNさんサポート隊のような、地域住民・保護者を主体としたボランティア隊を設置し、活動を行う。

③ 地域と学校を結ぶコーディネーター

事業内容 各学校に1～5名を配置。地域の人材、教材、情報を学校と地域社会とで共有・活用する。

④ 学校開放講座の実施

事業内容 教職員が持つ技術や知識を地域に還元し、文化、芸術、体育等の市民向け講座を開催する。



(5)芸術・文化の振興

① 文化活動の振興

○定期文化事業

事業内容 定期文化事業として、氏家・喜連川公民館ホールなどを中心に市民が文化や芸術を身近に親しめるコンサートや公演などを行う。また、様々な主体と、より多くの人々を巻き込み、参加と連携、交流を促し、国・県等が行う事業の活用の可能性を探りながら、オールさくらで文化機運の醸成を図り、レガシーの創出・継承に繋げていく。

令和2(2020)年度は、「太鼓フェスティバル」、「ジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル」など地域性の高い事業を中心に、市民の要望を取り入れ、質の高い公演を有料、無料で実施する。



SuperFreak2020!



太鼓フェスティバル2019

○児童生徒対象文化芸術振興事業

事業内容 音楽鑑賞教室として、学校の要望を取り入れながら、普段体験をすることの少ない、優れた奏者の生演奏を聞くことを目的とし、全小・中学校の児童生徒を対象に行う。なお令和2(2020)年度も小学校は文化庁の補助を得て実施する予定である。

○歴史・文化を通じた地域づくり事業

事業内容 こどもラジオ教室は小学生を対象に地域文化を発信するラジオ番組を制作し、放送を行う。さくら未来塾のわくわく体験コースの1つとして実施する。また、さくらテラスにおいて奥州街道に関する展示を行い、それに合わせて実際に奥州街道を歩く事業を実施する。



音楽鑑賞教室(小学校)



音楽鑑賞教室(中学校)



こどもラジオ教室

2-2 各種学級・講座関係一覧

区分	事業名	内容
家庭教育	1 子育てMAP、家庭教育通信「つくしんぼ」発行	0～1歳児を持つ親全員を対象に家庭教育に関わる情報を提供
	2 親子応援講座	来年度の小学校入学児を持つ保護者を対象に講座を開催
地域力の向上	1 地域と学校を結ぶコーディネーター	学校から相談を受け、学校支援ボランティアを紹介している
人権	1 人権啓発	人権問題を正しく理解するため、発達段階に応じ各種講座に取り入れ、人権教育を推進する
青少年教育	1 青少年の非行・被害防止全国強調月間	広報等による啓発活動 7月
	2 子ども・若者育成支援強調月間	広報等による啓発活動 11月
	3 青少年問題協議会	青少年健全育成を考える必要事項の総合的な調査、審議
	4 青少年センター	青少年健全育成に係る総合的施策の推進
	5 放課後子ども教室推進事業	地域の大人が指導者となり、放課後の子どもの安全な遊び場の提供と子どもの健全育成を目指し、ふれあい学習の推進を図る
	6 子どもの安心・安全	地域ネットワークづくり
	7 家庭の日推進事業	家族のふれあいの機会の提供・啓発
	8 さくらリーダーズクラブ	子ども会への協力や地域社会への奉仕活動
	9 さくらユースボランティア	市内の各種団体・施設等でのボランティア活動
	10 さくら未来塾	子ども達の知・徳・体を総合的に育むために、多くの学びの機会を設ける。
成人式	1 成人式	新成人を中心にした実行委員会を組織し、成人式を開催
運営研修	1 県、地区社会教育振興協議会	社会教育委員、職員の現職研修
	2 県、地区人権教育研修会	人権教育の推進
	3 県、地区芸術祭	音楽祭、演劇祭、邦楽祭、作品展運営
	4 子育て相談事業	家庭教育に関する相談
	5 家庭教育オピニオンリーダー研修会	地域活動のリーダー養成
	6 次世代人材づくり事業	地域で活躍するリーダー育成
	7 女性教育指導者研修	女性の地域リーダー養成
自主グループ・団体の育成	1 自主グループの支援	生涯学習・社会教育の振興あるいは青少年健全育成を目的とし、営利を求めない公共性のあるグループ・団体等について幅広く支援する

2-3 生涯学習各種委員会

事業名		内容
1	社会教育委員会及び公民館運営審議会	社会教育関連事業及び公民館事業内容の検討・社会教育の調査、研修
2	生涯学習推進協議会	生涯学習推進計画の推進
3	青少年センター運営協議会	青少年センターの事業運営について調査・審議
4	青少年問題協議会	青少年健全育成を考える必要事項の総合的な調査・審議
5	親育ち・子育て支援協議会	教育と福祉の連携による親への総合的な支援について審議
6	学校支援地域実行委員会	地域と学校の連携・協働の審議
7	喜連川小学校支援地域本部	喜連川小学校を支える地域の基盤整備
8	氏家小学校支援地域本部	氏家小学校を支える地域の基盤整備
9	青少年センター少年指導員会	少年指導における青少年健全育成に関する審議
10	図書館協議会	図書館運営に関する調査・審議

3 公民館

(1)概要

喜連川公民館

所在地 さくら市喜連川4397番地1
 電話 028-686-6624 FAX 028-686-5556
 敷地面積 3,638.00㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造 2階建
 建築面積 1,273.35㎡
 建設年月日 昭和55年3月25日

施設の定員及び使用料

施設名	定員	午前	午後	夜間	全日	暖房料/時間	冷房料/時間	
		9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 21時30分まで	9時から 21時30分まで	1時間単位で 繰り上げ計算	1時間単位で 繰り上げ計算	
1階	第1研修室	人 24	円 300	円 500	円 500	円 1,100	円 150	円 200
	調理実習室	36	500	700	700	1,700	150	200
	団体事務室	60	600	800	800	2,000	200	250
	工芸実習室	50	600	800	800	2,000	200	250
	幼児室	30	500	700	700	1,700	150	200
2階	第2研修室	20	300	500	500	1,100	150	200
	第3研修室	40	500	700	700	1,700	150	200
	第4研修室	40	500	700	700	1,700	150	200
	第5研修室	40	500	700	700	1,700	150	200
	和室	60	600	800	800	2,000	200	250
	視聴覚室	50	600	800	800	2,000	200	250
	ホール	450	5,000	7,500	7,500	18,000	1,000	1,250
ステージのみ	—	1,500	2,500	2,500	6,000	1,000	1,250	

利用案内

利用時間 午前 9時～午後 9時30分

休館日 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)、第2・4月曜日、毎月第3日曜日

※これらの規定に関わらず、公民館の管理上、特に必要がある場合は臨時休館となる場合があります。

利用申込 公民館窓口で利用日の3日前までに申請書に記入して利用許可を受けます。

備考

1. 市外居住者が利用する場合の使用料は5割増しとします。(冷暖房費は除く)
2. 入場料を徴収する使用料は、公共的利用にあつては使用料の2割増し、非公共的利用にあつては使用料の5割増しとします。

氏家公民館

所在地 さくら市櫻野1322番地8

電話 028-682-1611 FAX 028-682-0371

敷地面積 18,094.00㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造 2階建一部鉄骨造

建築面積 2,070.09㎡

建設年月日 昭和54年3月15日

施設の定員及び使用料

施設名	定員	午前	午後	夜間	全日	暖房料/時間	冷房料/時間	
		9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 21時30分まで	9時から 21時30分まで			
ホール	人 800	円 10,000	円 15,000	円 15,000	円 36,000	円 2,000	円 2,500	
ステージのみ	—	3,000	5,000	5,000	12,000	2,000	2,500	
1階	第1研修室	20	300	500	500	1,100	150	200
	第2研修室	30	500	700	700	1,700	150	200
	第3研修室	20	300	500	500	1,100	150	200
	調理室	48	600	800	800	2,000	200	250
	幼児室	30	500	700	700	1,700	150	200
2階	第4研修室	50	600	800	800	2,000	200	250
	第5研修室	30	500	700	700	1,700	150	200
	視聴覚室	30	500	700	700	1,700	150	200
	和室1	30	500	700	700	1,700	150	200
	和室2	30	500	700	700	1,700	150	200
	茶室	10	300	500	500	1,100	100	150
	第6研修室	20	300	500	500	1,100	150	200

利用案内

利用時間 午前 9時～午後 9時30分

休館日 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)、第1・3月曜日、毎月第3日曜日

※これらの規定に関わらず、公民館の管理上、特に必要がある場合は臨時休館となる場合があります。

利用申込 公民館窓口で利用日の3日前までに申請書に記入して利用許可を受けます。

備考

1. 市外居住者が利用する場合の使用料は5割増しとします。(冷暖房費は除く)
2. 入場料を徴収する場合の使用料は、公共的利用にあっては使用料の2割増し、非公共的利用にあっては使用料の5割増しとします。

(2)運営方針

公民館は、市民のための学校として、教育基本法や社会教育法を遵守しつつ、地域学習の拠点となるよう、社会教育学級や公民館講座を実施する。また、学んだ成果を生かし、地域づくりにつながる活動を支援し、住民の生活文化の向上を図る。

(3)重点施策

- ・ 公民館施設の整備と施設サービスの向上
- ・ 自治公民館活動の活性化に向けた支援強化
- ・ 花いっぱい運動の推進
- ・ 公民館を拠点とした自主学習の支援と学習成果を生かした地域づくりの支援強化
- ・ 連続講座を実施することで学習縁による仲間づくりを促進

(4)社会教育学級の実施

○事業名 乳幼児学級(エンゼル講座)

事業内容 0歳から未就学児を持つ親を対象に実施する。

事業目的 乳幼児から幼児期への子育てのあり方や、この時期に必要とされる学習の提供、また、育児の方法を見つけるための相談、そして、修了生が学習成果や経験知識を発揮できるような自主学習活動の向上を図る。

○事業名 高齢者学級(菜の花学級)

事業内容 概ね60歳以上を対象に市公民館等を利用して開催し、学習機会を提供する。

事業目的 高齢期の学習機会の提供や学習内容の充実を図り、高齢者の心豊かな生きがいがづくりの促進と社会参加を促しながら、高齢者自身の意欲と創意工夫を生かした学習活動を行う。



エンゼル講座



菜の花学級



キッズ&ファミリーコンサート



公民館フレンド講座

(5) 地域子どもプロジェクトSSの支援

地域の大人たちがスタッフとなり、子どもとの体験活動を通じて、子どもと大人また大人同士のつながりを深め、地域ぐるみで事業を展開していくことで、地域や家庭の教育力向上を支援している。現在は、熟田小学校区のみで実施。



公民館ボランティアもちつき

(6) 公民館講座の実施

地域課題の解決と仲間づくりを目的としてボランティアを活用した連続講座を幅広く実施する。

(7) 公民館ボランティアの育成と活用

ボランティアの育成を図るとともに、ボランティア養成講座修了生の緑のカーテン設置・花植え等の実施による環境学習や、もちつき等の行事で世代間交流を推進する。



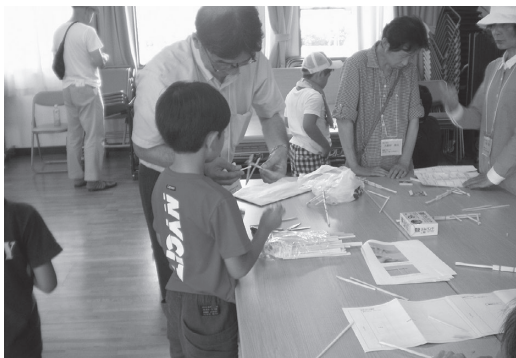
公民館ボランティア
成人式ガーデニング

(8) 自治公民館活用事業

自治公民館を地域の拠点にすることを目的として、地域で行われる学習会等への講師の派遣や自治公民館での出張講座を実施し、自治会の活性化を援助する。



氏家雞めぐりの拠点づくり



自治公民館世代間交流事業



菜の花出張講座

4 図書館

(1)概要(令和2年3月31日現在)

《氏家図書館》

所在地 さくら市桜野1321番地
電話 028-682-9889
F A X 028-681-0082
建物面積 1,144㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
開館年月日 昭和55年7月1日
所蔵資料数 120,132点
開架率 67%



—氏家図書館—

《喜連川図書館》

所在地 さくら市喜連川4397番地1
電話 028-686-7111
F A X 028-686-7113
建物面積 1,794㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
半地下
開館年月日 平成10年10月1日
所蔵資料数 114,326点
開架率 78%



—喜連川図書館—

(2)利用案内

開館時間 午前9時～午後7時
休館日 氏家：第2・4金曜日、年末年始、特別整理期間
喜連川：第1・3・5月曜日、年末年始、特別整理期間
館内利用 館内で所蔵している資料は自由に閲覧することができる。
館外利用 市内に居住、勤務、在学している方、近隣市町(矢板市、塩谷町、大田原市、那珂川町、那須烏山市に在住)、または県央5市4町(宇都宮市、鹿沼市、日光市、真岡市、下野市、上三川町、芳賀町、壬生町、高根沢町に在住)の方は利用できる。
利用点数 一人の利用点数は、図書・雑誌必要数、課題図書2冊、電子書籍3点、AV5点。貸出期間は2週間。
電子図書館 登録対象者は、さくら市に在住・在勤・在学の方。
電子書籍の貸出には、電子図書館用暗証番号の登録が必要。
広域利用 市図書館に無い資料(図書・CDのみ)は、リクエスト申込みをすることにより、他の図書館から取り寄せて利用できる。

図書館ホームページ <http://www.library.sakura.tochigi.jp>

さくら市電子図書館ホームページ <https://www.d-library.jp/sakura/>

Eメールアドレス 氏 家：ujiie-lib@vesta.ocn.ne.jp

喜連川：kitsuregawa-lib@vesta.ocn.ne.jp

指定管理者制度 平成27年4月1日にサービス向上と経費の節減を目的として指定管理者制度を導入。民間ノウハウをいかした図書館運営を行う。

指定管理者 大高商事・図書館流通センター 共同事業体

指定管理期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日まで

(3)運営方針

生涯学習の情報発信の基地として、また、市民の憩いの空間として、さらに市民参加による協働型図書館を目指す。そのために、①ニーズに基づいた資料の収集、②ゆとりのある豊かな人生を送るための学習の場を提供する各種講座の開催、③図書館を利用して自主・ボランティア活動を行っている団体への側面からの支援の3点を柱に、市民の生活に密着した市民のための図書館運営に努める。

(4)重点施策

ア 図書館資料の整備充実

一般図書、児童図書、郷土資料、参考資料及び視聴覚資料等を計画的かつ網羅的に収集し保存する。また、氏家・喜連川図書館の蔵書構成を特色あるものにするために、収集ジャンルを分担して資料の整備充実に努める。

	主な収集分野
氏家図書館	総記類・自然科学・文化・芸術・芸能・環境・エコロジー・子育て・大活字図書資料・児童書の複本の整備・郷土資料
喜連川図書館	生活・福祉・介護・高齢者・健康・医療・教育・趣味・スポーツ・実用書・AV資料

イ 図書館施設の環境整備

館内外の秩序維持、環境整備を含め明るく開放的な図書館が維持されるよう配慮する。平成30年11月には、公衆無線LANを各館に1台ずつ配置した。

ウ 利用者の拡大促進

カウンター業務を重視し、利用者への情報提供サービスの充実強化に努める。
また、ホームページや広報等による広報活動をとおして利用者の増加に努める。
さらに、魅力ある講座・イベントを開催して利用促進を図る。

エ 子ども読書活動推進計画の推進

平成31年3月に「第二次さくら市子ども読書活動推進計画」を策定した。子どもが、あらゆる機会と場所において読書に親しむ習慣を確立するため、乳幼児期から読書の楽しさを知ることができるよう、家庭・地域・学校等が連携して様々な施策に取り組む。

オ 自主活動グループの育成強化

図書館を拠点として自主活動を行っているグループのスムーズな運営を側面から支援することにより、グループの育成強化に努める。

カ 図書館協議会の充実

社会環境の多様化する中、市民ニーズに対応した図書館運営に資するため、最新情報の収集と調査研究を実施する。

キ 図書館職員の資質の向上

図書館職員の資質の向上のため内外で開催される研修会、研究会、勉強会への積極的な参加に努め、業務に対する意識の改革と意欲の高揚を図る。

ク 電子書籍の充実

平成28年1月から図書館の新たなサービスとして、電子図書館サービスを導入。非来館型サービスを提供し、利用拡大を目指す。また、さくら市独自の資料として、さくら市に著作権のある資料の電子書籍化を行い、市内外へ広く発信する。

(5)令和元年度の利用状況

	開館日数	図書館利用者数	貸出利用者数	学習室利用者数	資料貸出数	資料貸出数の内訳			
						一般書	児童書	雑誌	AV
氏家図書館	307日	102,423人	43,194人	9,765人	188,911点	72,374冊	87,098冊	7,445冊	21,994点
喜連川図書館	313日	63,404人	21,892人	3,829人	112,395点	40,003冊	47,081冊	5,773冊	19,538点
合計	620日	165,827人	65,086人	13,594人	301,306点	112,377冊	134,179冊	13,218冊	41,532点

※一般書は、参考、郷土、相互等を含む。

○令和元年度の利用登録者状況

	男性	女性	団体等	計
氏家図書館	6,377人	9,873人	236人	16,486人
喜連川図書館	3,023人	3,936人	178人	7,137人
合計	9,400人	13,809人	414人	23,623人

(6)令和2年度の事業計画

ア 定例行事

定例行事	開催館	開催日	講師
おはなし会	氏家	毎週土曜日 午前11時～	アリスの会
	喜連川	毎月第1・3・5土曜日 午前11時～	バーバママ
プチおはなし会・わらべうたの会	氏家	毎月第3木曜日 午前11時～	アリスの会
紙しばい	氏家	毎月第1土曜日 午後2時～	小原 勇氏
	喜連川	毎月第2・4土曜日 午前11時～	亀田 格男氏

イ 季節行事

開催月	図書館講座	開催館	講師
5月	図書館寄席	氏家	真岡落語研究会
5月	「新元号『令和』と『万葉集』」講座	氏家	和田貞夫氏
6月	絵本の読み聞かせ講座	氏家	鈴木晴代氏
6月	「竹はり画」講座	喜連川	河野治男氏・菅谷清康氏
7月	ホンダダンボールクラフト	喜連川	本田技研工業
7月	図書館まつり（ガチャポン含む）	喜連川	—
7～8月	さくちゃん企画	両館	—
8月	1日子ども図書館員	両館	図書館職員
9月	工作会	両館	未定
9月	調べる学習講座	喜連川	未定
10月	リサイクル市	両館	—
10月	和紙を使った手作りチャームづくり	氏家	未定
12月	朗読会	氏家	青木ひろこ氏他
12月	寄せ植え講座	氏家	未定
12月	クリスマス会	喜連川	未定
1月	市民ギャラリー	氏家	氏家中学校・喜連川中学校他
2月	図書館利用アンケート	両館	—

(7)子どもの読書活動推進

市では、平成31年3月に「第二次さくら市子ども読書活動推進計画」を策定した。第二次計画では、①家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の推進②子どもの読書活動を支える環境の整備③子どもの読書活動に関する普及啓発の推進と推進体制の整備の3項目を基本方針として、子どもの読書活動の推進を図るための活動に取り組んでいる。

ア ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が絵本を通して「楽しいひととき」を持つことを応援する運動。10ヶ月児健診の受診時に、絵本2冊の無料配布及び絵本の紹介を行う。事業の一環として、図書館内におすすめ絵本のコーナーを設け、ブックスタートで紹介した絵本を展示・貸出する。令和2年度配布絵本「ぱんちんぱん」「もこ もこもこ」2冊

イ あかちゃんタイム

第1・3木曜の午前10時から正午まで実施。小さいお子さんが泣き声を上げたりしてしまっても「他の利用者に寛容の気持ちで見守っていただくように」ご協力をお願いする時間を設け、小さいお子さんがいる親子が気軽に図書館に来館できる環境を提供している。氏家図書館では、この時間にあわせ、第3木曜日に赤ちゃん向けのおはなし会を行っている。

ウ 児童書の整備充実

子どもたちのニーズに基づいた児童書等の収集に努める。平成27年度から館内にYA(ヤングアダルト)コーナーを設置し、中高校生向け図書の展示を常時実施している。

エ 団体貸出の充実

様々な本にふれあう機会を提供するとともに、市立図書館から離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるため、市内幼稚園・保育園・小学校・児童センター等へ、絵本・児童書の貸出を定期的に行う。

オ 子ども向けイベントの開催

来館のきっかけづくりとして、「図書館まつり」等の子ども向けイベントを定期的に開催する。

カ 情報の収集と提供

子どもの読書活動に関連する情報を「子ども図書館だより」や図書館ホームページ等で提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進する。なお、「子ども図書館だより」は平成29年度から定期的(年4回)に発行し、学校を通じて全児童に配布している。

キ 子ども読書活動支援会議の開催

関係機関、団体等と連携を取り、子どもの読書活動の推進を図るため、また関係者の情報交換の場を設けるため毎年会議を開催する。

ク 図書館ボランティアとの連携・協働

子どもたちが読書に親しむ機会を提供するため、図書館や学校等で活動を行っている図書館ボランティアと連携を取りながら活動の支援を行っている。



工作会



図書館まつり おはなし会スペシャル

(8) ボランティア団体の支援・育成

図書館では、図書館を中心に活動するボランティアの支援・育成を行うほか、自主活動グループのスムーズな運営を側面から支援している。また、各団体と連携をとりながら、図書館行事への参加協力依頼を行っている。

○ボランティア団体

ボランティア	アリスの会、バーバママの会、紙芝居、地域応援隊
読書会	すみれの会
自主学习団体	うじいえ川柳会、さくら文学・歴史散歩の会、さくら民話の会

(9)図書館資料表

(令和2年3月31日現在)

分類	館名	一般書	児童書	参考図書	郷土資料	合計
総記	氏家	1,984	568	670	1,290	4,512
	喜連川	2,005	399	239	507	3,150
	合計	3,989	967	909	1,797	7,662
哲学	氏家	1,591	307	62	39	1,999
	喜連川	2,344	263	67	23	2,697
	合計	3,935	570	129	62	4,696
歴史	氏家	5,212	1,513	501	1,331	8,557
	喜連川	5,013	1,048	361	758	7,180
	合計	10,225	2,561	862	2,089	15,737
社会科学	氏家	7,613	1,965	526	2,252	12,356
	喜連川	8,003	1,520	217	820	10,560
	合計	15,616	3,485	743	3,072	22,916
自然科学	氏家	4,639	3,558	255	166	8,618
	喜連川	4,395	2,738	260	89	7,482
	合計	9,034	6,296	515	255	16,100
工術学	氏家	6,690	1,303	95	343	8,431
	喜連川	7,534	985	111	93	8,723
	合計	14,224	2,288	206	436	17,154
産業	氏家	1,951	838	183	373	3,345
	喜連川	3,051	668	94	82	3,895
	合計	5,002	1,506	277	455	7,240
芸術	氏家	5,952	1,407	614	475	8,448
	喜連川	5,777	1,330	163	205	7,475
	合計	11,729	2,737	777	680	15,923
言語	氏家	774	446	252	18	1,490
	喜連川	1,315	468	284	18	2,085
	合計	2,089	914	536	36	3,575
文学	氏家	11,157	9,805	135	350	21,447
	喜連川	11,022	9,807	105	128	21,062
	合計	22,179	19,612	240	478	42,509
F (現代小説)	氏家	14,446	9	0	0	14,455
	喜連川	17,670	3	0	0	17,673
	合計	32,116	12	0	0	32,128
E (絵本)	氏家	4	14,796	0	0	14,800
	喜連川	0	11,398	0	0	11,398
	合計	4	26,194	0	0	26,198
P (紙芝居)	氏家	0	649	0	0	649
	喜連川	0	635	0	0	635
	合計	0	1,284	0	0	1,284
図書計	氏家	62,013	37,164	3,293	6,637	109,107
	喜連川	68,129	31,262	1,901	2,723	104,015
	合計	130,142	68,426	5,194	9,360	213,122

分類	館名	合計
C D	氏家	6,507
	喜連川	4,109
	合計	10,616
VHS	氏家	352
	喜連川	1,608
	合計	1,960
DVD	氏家	1,797
	喜連川	1,649
	合計	3,446
他AV (LD等)	氏家	0
	喜連川	121
	合計	121
A V 合計	氏家	8,656
	喜連川	7,487
	合計	16,143

電子書籍	両館	8,041
------	----	-------

雑誌計	氏家	2,369
	喜連川	2,824
	合計	5,193

総合計	氏家	120,132
	喜連川	114,326
	合計	234,458

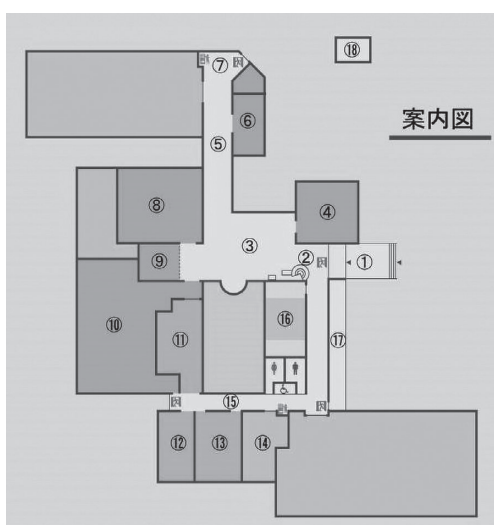


図書館キャラクター
「さくちゃん」

5 さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－

(1) 概要

所在地 さくら市氏家1297番地
 電話 028-682-7123
 F A X 028-682-7854
 敷地面積 9,836.05㎡
 建築面積 2,886.54㎡
 延床面積 2,885.62㎡



主要各室

- ①正面玄関 ②受付 ③・⑤展示ホール
 - ④荒井寛方室 ⑥鋸展示室 ⑦・⑮・⑰休憩室※⑰(館外)
 - ⑧企画展示室 ⑨野口雨情コーナー
 - ⑩さくら市の自然・歴史・文化展示室
 - ⑪市民ギャラリー ⑫体験学習室 ⑬講座室
 - ⑭学芸員室 ⑯事務室
 - ⑱木造不動明王坐像収納庫(館外)
- 他一般収蔵庫、特別収蔵庫、展示倉庫、燻蒸室など
 ※④⑥⑧⑨⑩は主要展示室

沿革

- | | |
|--------------|--|
| 1988年(昭和63年) | 氏家町制100周年事業として計画 |
| 1993年(平成5年) | 5月 「ミュージアム氏家」として開館 |
| 1995年(平成7年) | 民家広場(民家・長屋門・板倉)を整備。 |
| 2005年(平成17年) | 3月 市町村合併により「さくら市」誕生、館の名称をさくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－と改める |
| 2011年(平成23年) | 3月 東日本大震災により被災 |
| 2013年(平成25年) | 6月 落雷により民家焼失。 |
| 2014年(平成26年) | 6月 新館(収蔵庫・鋸展示室)を新築。 |
| 2015年(平成27年) | 3月 本館リニューアル。
木造不動明王坐像収納庫新築。 |



(2)運営方針

先人が培ってきた郷土の歴史・文化の土壌を更に発展させ、生涯学習の街づくりに寄与するために地域の歴史・文化に関する資料を収集・保存する。また、これらの貴重な資料を後世に伝えるとともに、人々が交流し、新しい文化活動の拠点としての機能を発揮する。さらに、鬼怒川河川公園、勝山城跡、歴史・文化の森の整備により、新たな文化ゾーンの核となる活動を展開していく。

(3)重点施策

- ア 郷土の歴史・文化の調査・研究に努め、その成果と展示活動・普及活動を通じて市の文化向上に寄与する。
- イ 企画展等の優れた学術・芸術に接する機会の拡充に努め、芸術文化に対する来館者の関心と理解の深化を図る。
- ウ 文化交流事業の充実によって国内外に情報発信を行う。
- エ 施設、整備、資料の充実と整備。

(4)特色

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－は通常4つの展示構成からなる。このほか、企画展、巡回展等を開催している。また展示活動とは別にギャラリーコンサートや講演会、講座、体験学習、見学会等のほか小中学生を対象とした総合的な学習に対する支援活動を行っている。また芸術文化振興のため、市民等の美術工芸作品などの展示スペースとして市民ギャラリーを新設した。

(5)利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日、第3火曜日、国民の祝日の翌日(土日は除く)、年末年始(12月29日～1月3日)、その他臨時休館日(燻蒸期間、展示替え期間)

観覧料 一般300(210)円、高校・大学生200(140)円、小・中学生100(70)円

※()内は20名以上の団体料金、市内小・中学生は無料

(6)展示内容

荒井寛方室

さくら市出身の日本画家で明治から昭和にかけて日本美術院で活躍した荒井寛方の足跡を作品・スケッチ・書簡等で紹介する記念室。



野口雨情コーナー

日本三大童謡詩人の一人、野口雨情の最初の妻ヒロは、さくら市喜連川出身です。雨情は、さくら市を何度も訪れ、多くの作品を残しています。その雨情の原稿や書、楽譜など全国有数のコレクションから貴重な品々を展示。



企画展示室

現代作家の日本画・洋画・版画・彫刻の館蔵コレクションを展示。米陀寛、渡辺安友、荒井孝、松本哲男、森田茂、さくら市在住の杉山吉伸など主に栃木県にゆかりのある作家の紹介。

また、館独自の歴史・美術・民俗・自然等に関する企画展を開催しています。



自然・歴史・文化展示室

鬼怒川のれき河原の自然、喜連川地区を中心とする里地・里山の自然、そして、古代・東山道、中世・奥大道、近世・奥州道中など地域を結ぶ時代の道を軸とした歴史、喜連川御城下の由緒と伝統、この地で生まれ、継承された文化を紹介しています。

「渡辺清絵日記の世界」「喜連川神社天王祭」の映像コーナー、「さくら市の自然」「渡辺清絵日記」「荒井寛方・現代作家作品等の美術品」、「大正、昭和時代の写真」などの検索コーナー、さくら市の自然の映像展示を設け、画像・映像展示も充実させました。



鋸展示室

旧氏家町出身の鋸研究家・吉川金次コレクションと関連資料約300点により、鋸の発達の歴史と多種多様な種類の鋸、及び日本の木工職人を代表する大工の道具を展示しています。また鋸鍛冶の現場を実物大で展示するなど、見どころは多くあります。

市民ギャラリー

市民ギャラリーは市民等をはじめ、美術愛好家・絵画サークルなどの方々が、芸術・文化の成果を気軽に発表・鑑賞できるとともに、サロンの雰囲気、より身近に芸術作品を親しめる場となっています。主に絵画・彫刻・書・写真・陶芸・立体造詣・現代美術等の展示を目的として利用できます。



(7)文化財の保護

文化財の指定、保護、啓発活動

後世に残る歴史、民俗、史跡、天然記念物の調査、保護、保存、啓発活動を行う。また、文化財の資料的価値や状況によって特に必要と認められるものを指定し、保護する。

さくら市指定文化財で、修理等が必要なものについて、修理費等の補助を行う。令和2年度も引き続き遺跡地図作成のための遺跡詳細分布調査を行う計画。



埋蔵文化財の調査、保護

埋蔵文化財包蔵地の周知と、開発等に伴う調整を行う。必要に応じて、試掘調査や発掘調査を行い、発掘現場説明会を実施するなど、普及啓発活動にも努める。



瀧澤家住宅等の管理と利活用

栃木県指定文化財瀧澤家住宅、堂原地蔵堂境内の管理や利活用を行っている。

瀧澤家住宅は昨年度全体の修理を終え、8月10日より一般公開をしている。

堂原地蔵堂境内では、建造物や樹木管理、清掃などの業務を継続的に行う。



瀧澤家住宅公開事業

来館者数

期日	開館日数	来館者数	期日	開館日数	来館者数
8月	11日	207人	1月	23日	220人
9月	15日	121人	2月	28日	2041人
10月	19日	151人	3月	25日	555人
11月	25日	209人	合計	169日	3628人
12月	23日	124人			

実施イベント

月 日	イベント名	内 容	来館者数
8月10日	プレオープン初日	修繕していた瀧澤家住宅をプレオープンして無料公開	28人
10月27日	本オープン記念式典	本オープンに伴いテープカットと琴の演奏の記念式典を実施	65人
11月23日	十二単を着てみよう	栃木県立博物館の協力による十二単と狩衣の体験	29人
11月30日	第1回瀧澤家出発 うじいえ歴史散歩	瀧澤家住宅より御前城跡や今宮神社などを巡り氏家の歴史を紹介	12人
12月15日	第2回瀧澤家出発 うじいえ歴史散歩	瀧澤家住宅より光明寺や西導寺などを巡り氏家の歴史を紹介	23人
12月22日	繭玉工作体験	着色した繭玉を使って繭玉の人形を作る工作体験	18人
1月19日	お琴の演奏会と ワークショップ	山田流箏曲のお琴、三味線、尺八の演奏会とお茶席の体験	105人
1月25日	楽しい昔話を聞こう	さくら民話の会による昔話や民話の語り体験	37人
2月8日 ～3月8日	第17回氏家雛めぐり	氏家雛めぐり実行委員会主催の雛人形の展示	2305人
2月16日	第3回瀧澤家出発 うじいえ歴史散歩	雨天により中止	
3月20日 ～3月31日	企画展 さくら・桜・SAKURA	島田恭子氏、緋陶志氏、琴絵氏、東秋氏の陶芸作品の展示	246人

令和元年度事業実績

《企画展》

SAKURA展 ～花の美を描く～



3月23日(土)～5月26日(日)

桜がモチーフになっている絵画を中心に、それぞれの作家の眼差しで、桜や花々がどのように表現されているかを紹介。
また、「桜の陶芸家」として知名度が高い島田恭子の陶芸を特別展示。



初夏の音展 ～日本画の魅力～



6月1日(土)～7月21日(日)

日本画壇を牽引してきた巨匠松尾敏男をはじめ、那波多目功一、齋藤満栄、前原満夫、松本高明等の作品を展覧し、日本画の魅力に迫る。

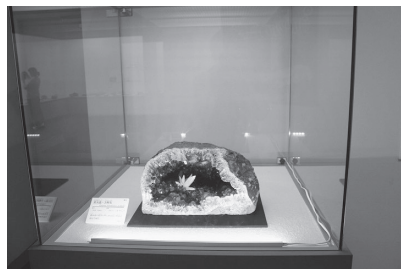


栃木県立博物館連携事業 地域移動博物館 鉱物の宝箱 ～きらめくStone Museum～



7月27日(土)～9月1日(日)

栃木県立博物館連携事業として、身近な鉱物や、触って学ぶハンズオン展示等を含めた様々な標本から鉱物の魅力を紹介。



第79回国際写真サロン展

主催：朝日新聞社・全日本写真連盟

9月21日(土)～10月6日(日)

国際的な公募写真展「国際写真サロン」の巡回展。今回新設された若手作品「U30部門」、大都会東京の魅力を発信する「&TOKYO部門」も加えた作品を展示。



第74回春の院展 栃木展

10月12日(土)～11月17日(日)

春に開催される日本美院主催「春の院展」の巡回展。同人作家をはじめ、受賞作品、栃木県にゆかりの作家の作品88点を展示。



<空調更新工事による休館>

空調更新工事により、2019年11月18日(月)～2020年2月14日(金)まで休館。

※第17回こども絵画展は、喜連川公民館で開催。

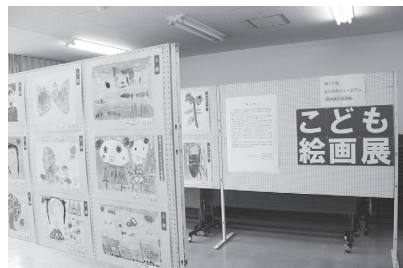
第17回こども絵画展

12月18日(水)～令和2年1月7日(火)

さくら市内のこどもたちから応募された絵画作品287点を展示。



<会場>喜連川公民館



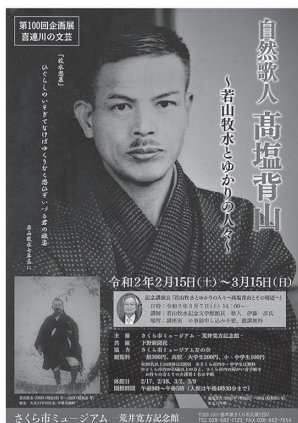
喜連川の文芸

自然歌人 高塩背山

～若山牧水とゆかりの人々～

2月15日(土)～3月15日(日)

喜連川神社神職、教員であった高塩背山は、栃木県を代表する歌人の一人であり、郷土喜連川の自然や人生を清明な心で詠い続けた。国民的歌手である若山牧水とも親交を深め、牧水は喜連川に三度訪れている。背山や牧水の書軸や短冊、大正時代の短歌雑誌や書籍、書簡など貴重な資料を約150点展示し、その生涯と、牧水や縁の人々との文化交流を紹介。

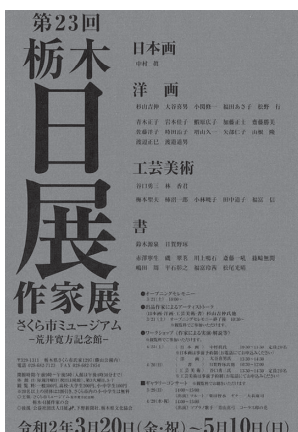


第23回栃木日展作家展

3月20日(金・祝)～5月10日(日)

日展で活躍する栃木県ゆかりの作家による展覧会。

日本画・洋画・工芸美術・書の各部門にわたる力作を展示。



《入館者数》

企画展名	入館者数 (人)
SAKURA展～花の美を描く～	4,022
初夏の音展～日本画の魅力～	3,675
栃木県立博物館連携事業 地域移動博物館 鉱物の宝箱～きらめくStone Museum～	5,501
第79回国際写真サロン展	1,363
第74回春の院展 栃木展	5,008
第17回こども絵画展	946
喜連川の文芸 自然歌人 高塩背山～若山牧水とゆかりの人々～	1,730
第23回栃木日展作家展	461
合計	22,706

《記念行事》

参加人数(人)

4月27日	開館記念落合崇史コンサート	150
6月1日	初夏の音展開幕式典・ギャラリートーク	150
10月12日	第74回春の院展 栃木展開幕記念式典	中止
12月21日	第17回こども絵画展「表彰式」	280
3月21日	第23回栃木日展作家展「オープニングセレモニー」	中止



開館記念落合崇史コンサート



初夏の音展開幕式

《講演会・講座・ギャラリートーク》

参加人数(人)

4月13日	SAKURA展「ギャラリートーク」	島田恭子氏	120
4月21日	SAKURA展「ギャラリートーク」	荒井孝氏	60
5月4日	SAKURA展「鑑賞ツアー」	当館学芸員	16
5月11日	SAKURA展「ギャラリートーク」	加藤晋氏	20
5月18日	SAKURA展「鑑賞ツアー」	当館学芸員	20
5月25日	SAKURA展「鑑賞ツアー」	当館学芸員	15
5月26日	SAKURA展「鑑賞ツアー」	当館学芸員	16
6月22日	初夏の音展「特別鑑賞会」	齋藤満栄氏	30
6月30日	初夏の音展「リレートーク」	岩波昭彦氏、岩谷勢子氏、 大島婦美枝氏、加藤裕子氏、 増田皓子氏	50
8月4日	鉱物の宝箱展「展示解説会」	吉田貴洋氏	60

9月29日	国際写真サロン展「ギャラリートーク」	鈴木是清氏	40
10月17日	春の院展栃木展「ギャラリートーク&サイン会」	田淵俊夫氏、那波多目功一氏、手塚雄二氏、宮北千織氏、岸野香氏、松本高明氏	中止
10月13日	春の院展栃木展「ギャラリートーク」	荒井孝氏	50
10月19日	春の院展栃木展「ギャラリートーク」	窪井裕美氏	50
10月20日	春の院展栃木展「ギャラリートーク」	岸野香氏	70
11月2日	春の院展栃木展「ギャラリートーク」	宮北千織氏	60
3月1日	高塩背山展「喜連川・背山歌碑めぐり」	さくら市観光ボランティアの会	中止
3月7日	高塩背山展記念講演会「若山牧水とゆかりの人々～高塩背山とその周辺～」	伊藤一彦氏	中止
3月8日	高塩背山展文化講座「短歌を楽しむ～花のうた～」	伊藤一彦氏	中止
3月21日	第23回栃木日展作家展「アーティストトーク(日本画・洋画・工芸美術・書)」	栃木・日展作家の会	中止
第1・3日曜日	うのはな手まりの会		404
	さくら民話の会		41



SAKURA 展「ギャラリートーク」



鉱物の宝箱展「展示解説会」



春の院展「ギャラリートーク」

《体験学習・ワークショップ》

参加人数(人)

8月4日	鉱物の宝箱展「火山灰は宝石箱」	吉田貴洋氏	40
8月10日	鉱物の宝箱展「鉱物ワークショップ」	当館学芸員	35
8月12日	鉱物の宝箱展「レインボー MY皿を作ろう!」	林香君氏	33
8月17日	鉱物の宝箱展「鉱物ワークショップ」	当館学芸員	46
8月24日	鉱物の宝箱展「勾玉作り教室」	当館学芸員	65
8月31日	鉱物の宝箱展「地球の色を取り出してみよう!」	岸野香氏	65
10月20日	春の院展栃木展「ワークショップ」	岸野香氏	16
11月2日	春の院展栃木展「宮北先生に学ぶ絵画教室」	宮北千織氏	15
1月16日 ～2月20日	学校連携事業(小学校3学年体験学習) 「むかしのくらしの道具展」 押上小、上松山小、南小、喜連川小	当館学芸員	283



鉱物の宝箱展
「レインボー MY 皿を作ろう!」



春の院展
「宮北先生に学ぶ絵画教室」



ギャラリーコンサート
「メーテルリンクコンサート」

《ギャラリーコンサート》

参加人数(人)

6月16日	松尾由佳・松尾麻里コンサート 「初夏の音スペシャル～ピアノとフルートの調べ～」	松尾由佳氏、松尾麻里氏	120
7月7日	七夕スペシャルコンサート 「～JAZZの響き～」	得田サトシ氏、吉本ヒロ氏、 入船裕次氏、松尾由佳氏	110
8月3日	ギャラリーコンサート 「大地に呼応する音楽 ～サンポーニャとケーナの調べ～」	瀬木貴将氏	130
2月23日	ギャラリーコンサート 「メーテルリンクコンサート」	メーテルリンク	50
3月29日	ギャラリーコンサート	栗田智水氏、大萩康司氏	中止

《市民ギャラリー》

観覧者数(人)

7月27日～ 7月30日	第30回さくら市書道連盟展	さくら市書道連盟	161
7月31日～ 8月 4日	第23回塩谷地区美術協会展	塩谷地区美術協会	371
8月23日～ 8月28日	クチュール花UTAKO彩花展	アトリエ野ばら	276
8月29日～ 9月 1日	パッチワーク作品展	キルトタイム	234
9月21日～ 9月25日	第19回北関東写真サロン	全日本写真連盟	126
9月26日～ 9月29日	第10回ニッコールクラブ鬼怒支部写真展	ニッコールクラブ鬼怒支部	275
10月2日～ 10月 6日	墨彩会水墨画展	墨彩会	204
2月21日～ 2月24日	さくら市美術協会展	さくら市美術協会	246

《うじいえ自然に親しむ会との共催事業》

参加人数(人)

4月14日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	うじいえ自然に親しむ会会員	20
4月28日	ヤマブキソウの観察会	田代俊夫氏	39
5月20日	つつじ観察会（鹿沼市・横根高原）	うじいえ自然に親しむ会会員	14
5月25日	シルビアシジミ観察会	松田喬氏	26
5月25日	総会・記念講演会・講師を囲む会	森田孝道氏	32
6月2日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	うじいえ自然に親しむ会会員	23
6月5日	オオキンケイギク抜き取り作業（協）	うじいえ自然に親しむ会会員	95
6月16日	ホタル観察会	高橋伸拓氏	中止
7月13日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	うじいえ自然に親しむ会会員	60
7月21日	夏休みの昆虫観察会と標本作り（協）	松田喬氏	40
7月28日	植物の標本作り（協）	田代俊夫氏	28
8月4日	セミの羽化観察会（協）	高橋伸拓氏	52
8月11日	鬼怒川の石ころ観察会	大金齊氏、高橋伸拓氏	20
8月17日	第2回植物の標本作り（協）	田代俊夫氏	8
8月18日	トンボの観察会（協）	高橋伸拓氏	23
9月8日	水生昆虫観察会（協）	高橋伸拓氏	21
9月13日	秋の植物観察会	田代敏夫氏	28

10月6日	シナダレスズメガヤ抜き取りとカワラノギク観察会	うじいえ自然に親しむ会会員	中止
11月17日	探鳥会	佐藤康夫氏	61
1月19日	探鳥会	佐藤康夫氏	51
2月16日	冬の植物観察会（冬芽と葉痕を見る）	田代俊夫氏	14
3月15日	探鳥会	佐藤康夫氏	中止
3月22日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	うじいえ自然に親しむ会会員	23



総会・記念講演会



冬の植物観察会(冬芽と葉痕を見る)

《寛方・タゴール会との共催事業》

参加人数(人)

6月23日	特別講演会 「タゴールと寛方～日本文化と邸宅「心」について～」	ニランジョンバネルジー氏 佐藤研吾氏	50
-------	------------------------------------	-----------------------	----



特別講演会「タゴールと寛方～日本文化と邸宅「心」について～」

《歴史文化研究会との共催事業》

参加人数(人)

6月8日	総会・記念講演会 「惜しまれる遺跡たち—冬の時代の文化財保護—」	海老原郁雄氏	26
11月10日	第1回講座「寛方の誕生・上京・修行時代」	中野英男氏	10
12月15日	講演会 「明治時代の医師と患者—塩谷の医家文書から—」	廣川和花氏	37
2月16日	第2回講座「『國華』と寛方」	志田康宏氏	35
3月15日	第3回講座「明治美術界のうねりと寛方」	大木礼子氏	中止
毎月第1土曜	渡辺清絵日記を読む会	歴史文化研究会会員	57
毎月第1日曜	アジアの世界文化遺産を学ぶ	大木博志氏	107



総会・記念講演会



中野英男氏 講演会「寛方の誕生・上京・修行時代」

《さくら市ミュージアム友の会との共催事業》

参加人数(人)

6月14日 10月3日	ミュージアム前庭の花植え (年2回)	さくら市ミュージアム友の会会員	36
2月29日	「むかしの遊び体験」	さくら市ミュージアム友の会会員	中止

活動団体(さくら市ミュージアムと連携して活動する団体)

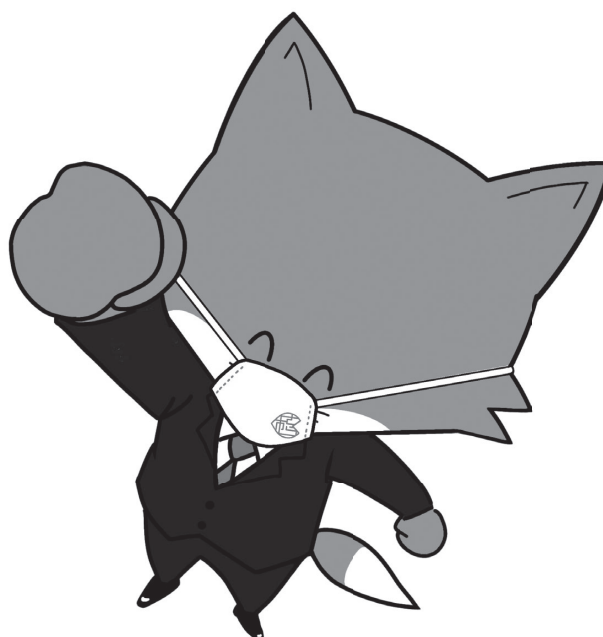
団体名	会員数	活動内容
さくら市ミュージアム友の会	191名	研修、会報の発行、ミュージアム主催事業への協力
寛方・タゴール会	30名	日印文化交流に関する事業の主催及び協力
うのはな手まりの会	28名	第1・3日曜日の研究会開催、年1回の作品展
氏家・喜連川歴史文化研究会	59名	講座・見学会の開催、民俗調査等の実施、会報・会誌の発行
うじいえ自然に親しむ会	168名	身近な自然に親しみながら観察会、学習会などを開催
さくら民話の会	7名	第1・3火曜日 昔語り地域の民話の学習会、むかし語りや読み語りの活動



さくら市ミュージアム友の会
ミュージアム前庭の花植え



うのはな手まりの会作品



「第17回さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－こども絵画展」



表彰式風景



「さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－こども絵画展」は、絵画を通して身の回りの風景や事象に関心を持ち、また、その感動を描く楽しさを味わうことを目的として、平成15年度に始まりました。今回は17回目ということもあり、さくら市の園児、小中学生から、充実した作品288点が応募されました。



審査会風景

展覧会期間 令和元年12月18日(水)～令和2年1月7日(火)

審査員 森 實氏(元栃木県義務教育課指導主事美術担当)

平川晋吾氏(宇都宮大学名誉教授、工芸家)

杉山吉伸氏(洋画家、日展会員、光風会常務理事)

橋本啓二(さくら市教育委員会教育長)

杉山敏明(さくら市小中学校長会会長)

小竹弘則(さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－館長)

表彰式

令和元年12月21日(土) 午前10時～

喜連川公民館 ホール

《入賞者一覧》

荒井寛方賞	保育園・幼稚園の部	大門 夏穂	氏家幼稚園	年少
	小学校下学年の部	岡田 稟生	上松山小学校	2年
	小学校上学年の部	三浦 悠李	氏家小学校	6年
	中学校の部	亀井 果歩	氏家中学校	3年
さくら市長賞	保育園・幼稚園の部	松本 和樹	氏家幼稚園	年少
	小学校下学年の部	大塩 碧希	南小学校	1年
	小学校上学年の部	稲葉 妃愛	上松山小学校	4年
	中学校の部	小林 滯	氏家中学校	2年

さくら市議会議長賞	保育園・幼稚園の部	大草 快翔	氏家幼稚園	年長
	小学校下学年の部	横山 勇仁	喜連川小学校	2年
	小学校上学年の部	池田 央	押上小学校	5年
	中学校の部	松尾 空	氏家中学校	3年
さくら市教育長賞	保育園・幼稚園の部	中野 玲欧	わくわく保育園	年長
	小学校下学年の部	明石 なおは	氏家小学校	3年
	小学校上学年の部	鎗木 陽向	上松山小学校	6年
	中学校の部	尾関 仁美	氏家中学校	3年
さくら市ミュージアム館長賞	保育園・幼稚園の部	碓氷 航大	わくわく保育園	年長
	小学校下学年の部	相田 龍位	氏家小学校	2年
	小学校上学年の部	堀内 湊	氏家小学校	4年
	中学校の部	寺澤 萌々香	氏家中学校	1年
さくら市小中学校長会長賞	保育園・幼稚園の部	関谷 怜樹	氏家保育園	年中
	小学校下学年の部	森 ひなた	押上小学校	1年
	小学校上学年の部	田代 永	氏家小学校	4年
	中学校の部	高橋 彩音	喜連川中学校	2年
杉山吉伸賞	保育園・幼稚園の部	小林 晏	氏家保育園	年中
	小学校下学年の部	高瀬 理沙	氏家小学校	1年
	小学校上学年の部	亀井 椋太	南小学校	4年
	中学校の部	岡崎 優空	氏家中学校	3年
下野新聞社賞	保育園・幼稚園の部	古澤 雫	ふれあい保育園	年長
	小学校下学年の部	高堰 香乃	南小学校	1年
	小学校上学年の部	斎藤 蒼真	氏家小学校	4年
	中学校の部	大塩 悠悟	喜連川中学校	2年
NHK 宇都宮放送局長賞	保育園・幼稚園の部	高久 葵生	あおぞら保育園	年長
	小学校下学年の部	小倉 遼河	南小学校	3年
	小学校上学年の部	高野 伶恩	押上小学校	5年
	中学校の部	小川 撞風	喜連川中学校	2年
栃木放送賞	保育園・幼稚園の部	野元 開	あおぞら保育園	年長
	小学校下学年の部	佐々木 優華	押上小学校	1年
	小学校上学年の部	渡辺 煌捷	喜連川小学校	6年
	中学校の部	塩澤 優愛	氏家中学校	2年
エフエム栃木賞	保育園・幼稚園の部	鈴木 望友	あおぞら保育園	年長
	小学校下学年の部	福田 心翔	喜連川小学校	2年
	小学校上学年の部	高瀬 昇大	押上小学校	6年
	中学校の部	安田 初美	氏家中学校	3年

とちぎテレビ賞	保育園・幼稚園の部	山口 蒼結	あおぞら保育園	年中
	小学校下学年の部	須佐 宏汰	喜連川小学校	3年
	小学校上学年の部	中川 風吾	氏家小学校	6年
	中学校の部	中浜 優妃	氏家中学校	3年
氏家ロータリークラブ会長賞	保育園・幼稚園の部	津久井 菜央	たいよう保育園	年長
	小学校下学年の部	平石 宙	氏家小学校	3年
	小学校上学年の部	河又 紫乃	南小学校	6年
	中学校の部	長谷川 麻佑	氏家中学校	3年
氏家ライオンズクラブ会長賞	保育園・幼稚園の部	大久保 光莉	ふれあい保育園	年中
	小学校下学年の部	和田 唯愛	熟田小学校	3年
	小学校上学年の部	木村 莉緒	氏家小学校	5年
	中学校の部	黒尾 杏奈	氏家中学校	1年
寛方・タゴール会長賞	保育園・幼稚園の部	福山 千鶴	ふれあい保育園	年長
	小学校下学年の部	渡邊 詠太	氏家小学校	3年
	小学校上学年の部	青木 莉子	氏家小学校	5年
	中学校の部	大堀 優花	氏家中学校	2年
氏家商工会長賞	保育園・幼稚園の部	笹沼 美月	氏家保育園	年中
	小学校下学年の部	藤田 結羽	上松山小学校	3年
	小学校上学年の部	阿部 麦香	熟田小学校	6年
	中学校の部	高松 栞	氏家中学校	2年
喜連川商工会長賞	保育園・幼稚園の部	内海 心花	第二氏家さくら保育園	年長
	小学校下学年の部	樹本 奏芽	喜連川小学校	1年
	小学校上学年の部	長島 悠駕	南小学校	4年
	中学校の部	樋山 陽香	氏家中学校	2年
氏家観光協会会長賞	保育園・幼稚園の部	瀧澤 千穂乃	氏家幼稚園	年中
	小学校下学年の部	松田 修和	氏家小学校	2年
	小学校上学年の部	佐々木 亮輔	上松山小学校	4年
	中学校の部	藤野 友理香	氏家中学校	3年
喜連川観光協会会長賞	保育園・幼稚園の部	見目 陽香	氏家幼稚園	年中
	小学校下学年の部	小林 茉尋	氏家小学校	2年
	小学校上学年の部	桐原 歩	喜連川小学校	5年
	中学校の部	小代田 ひびき	氏家中学校	3年
MOA インターナショナル栃木賞	保育園・幼稚園の部	近 佳純	あおぞら保育園	年中
	小学校下学年の部	高久 桃華	氏家小学校	3年
	小学校上学年の部	関谷 駿	氏家小学校	6年
	中学校の部	小島 郁輝	喜連川中学校	1年

令和2年度企画展

第23回栃木日展作家展	3月20日(金・祝)～5月10日(日) 日展で活躍する栃木県ゆかりの作家を、日本画・洋画・工芸美術・書のジャンルで紹介します。
新収蔵作品展 令和の風一変わるもの変わらないもの一	5月16日(土)～7月5日(日) 近年収蔵した作品の中から、10名の作家を取り上げて、日本画・洋画の作品を紹介します。
謎解きミュージアム ～館長からの挑戦状～	7月18日(土)～9月6日(日) 常設展示の総合案内発刊を記念し、夏休みに家族でまるごとミュージアムを楽しむ展覧会。ミュージアム館内展示の謎を解きながら、さくら市の歴史と文化の魅力を紹介します。
第80回国際写真サロン展	9月26日(土)～10月11日(日) 毎年恒例、世界的な公募写真展「国際写真サロン」の巡回展。世界トップレベルの写真技術を展示します。
第75回春の院展栃木展	10月17日(土)～11月23日(月・祝) 春に開催される日本美術院主催の「春の院展」の巡回展。同人作品をはじめ、受賞作品、栃木県にゆかりの作家の作品、90点を展示します。
さくら市の歴史と文化 宇都宮・会津仕置430周年記念行事 喜連川足利氏誕生の軌跡 ～古河公方・小弓公方～	11月28日(土)～12月23日(水) 喜連川氏は、室町幕府を開いた足利尊氏の系譜に連なる鎌倉公方の末裔です。戦国時代「古河公方」「小弓公方」と分裂しましたが、豊臣秀吉の「宇都宮仕置」を経て、両公方家が婚姻によって統一され、喜連川氏が誕生します。その軌跡を紹介します。
第18回こども絵画展	2021年1月5日(火)～1月17日(日) 毎年恒例の「こども絵画展」。さくら市内のこどもたちの絵画作品を展示します。
平山郁夫展～日本の心～	1月23日(土)～3月14日(日) 日本画家・平山郁夫(1930-2009)の作品の魅力は、今なお色褪せることなく、多くの人に感動を与えています。このたびの平山郁夫展は、テーマを「日本」に当て、名作「洛中洛外図」はじめ宇治平等院、法隆寺、法起寺など名所を含む栃木県初公開の大作を展覧します。
第24回栃木日展作家展	3月20日(土・祝)～5月9日(日) 日展で活躍する栃木県ゆかりの作家を、日本画・洋画・工芸美術・書のジャンルで紹介します。

※展覧会の料金・会期・タイトル・内容は変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

●開館時間 午前9時～午後5時

●観覧料 一般300円(210円)、高校・大学生200円(140円)、小・中学生100円(70円)

※()内は団体料金

さくら市ミュージアム見学・体験学習の流れ（教職員用）

さくら市ミュージアムでは、学校と博物館との連携がより一層深まり、子どもたちの心豊かな教育が実現するよう、総合的な学習への対応や体験学習の充実に努めています。さくら市ミュージアムが所蔵している資料や展示物は学習教材となり、また、さくら市ミュージアムは第2の教室となります。学校のさくら市ミュージアム利用が効果的で充実したものとなるよう、さくら市ミュージアムと学校との双方向発信を今後も追求していきたいと思ひます。



さくら市ミュージアムと実施日時の調整(1ヶ月前)

希望する日が休館日であったり、行事が入っていたり利用できない場合があります。予備日を設定するようにしてください。

体験学習の内容を検討

当日の学習内容・授業のねらいをさくら市ミュージアムにお伝え下さい。できれば、担当者が直接ミュージアムまでお越し下さい。ねらいに合った資料の利用、プログラム等の検討をします。

施設利用申請書の提出(15日前まで)

様式はさくら市例規集にあります(さくら市博物館条例施行規則第11条様式第5号)。必要事項を記入し、さくら市ミュージアムに提出してください。

実施

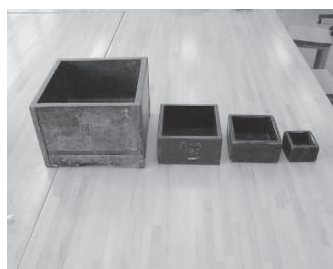
さくら市ミュージアムを利用する場合は、展示室では大声で騒がない、展示物には触らないなどのマナーをご指導下さい。

評価

児童生徒の感想・意見をもとに、良かった点、改善すべき点等を評価表に記入し、さくら市ミュージアムに提出してください。今後の体験学習の参考にします。

■体験学習教材例■

昔の生活道具



田植え着



火おこし



第74回 春の院展 栃木展 鑑賞プログラム

さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－

実施対象 さくら市内小学 5・6年児童

鑑賞展開(全1時間)



時間配分	活動内容	ミュージアム職員 (鑑賞紹介・解説等)	備考
7分	ミュージアム・荒井寛方・日本美術院についての説明を聞き、本時の活動内容を知る。	荒井寛方と院展の関係、院展とは何か、について説明する。(詳細は資料にて) この後の活動について説明する。	配布資料
15分	自分の好きな作品を1～3点選び、「何が描いてあるか」「作品の中の様子は」「どこが好きか」などをワークシートにまとめる。	質問があれば受け付けることを伝える。絵を選びかねている児童や選んだものを書くのを難しい児童にアドバイスする。	ワークシート(1人1枚) ※終わったら何枚か書いてもよい。
10分	自分の一番好きな絵の前に集まりワークシートを見せ合い、意見を交換する。グループの中で代表者を決め、その絵の良さについての発表内容をまとめる。	質問があれば受け付けることを伝える。グループの話し合いを支援する。	ワークシート (グループに1枚)
10分	展示室中央に集まり、グループごとに発表する。発表時は、グループ全員その場で立つ。	児童が各グループの発表のよさを認め合えるよう支援する。作品の前で解説する。	
8分	絵の鑑賞についてまとめ、日本画とその画材について知る。	本時の活動を振り返り、絵画の見方のすすめなどを紹介するとともに、日本画の特色や画材について説明する。	画材実物
10分	自由見学 (画材実物を触っても良い)	企画展示室以外の作品を見学	

開催日 10月23日、24日、25日、29日、30日

11月1日、7日、8日、12日、13日

参加人数 925人

VI 社会体育

1 社会体育の目標、基本方針

市民の健康づくり意識の高まりに伴い、スポーツ・レクリエーションへの関心も高まっており、誰もが気軽にスポーツ等の活動が楽しめる環境づくりが求められている。

このような中、近年は集団的活動より個人的活動が好まれるなど、価値観も多様化しており、スポーツへの関わり方についても変化してきている。

このため、市民ニーズを的確に把握しながら、「市民ひとり1スポーツ」の推進に取り組んで行く必要がある。

子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれのライフスタイルに応じた多様なスポーツ活動ができるよう、また、健康づくりや生きがいづくりができるよう諸政策を講じながら、生涯スポーツ社会の実現を目指すものとする。

2 本年度の重点目標

① 生涯スポーツの推進

- ・市民のスポーツ活動を推進するため、各種教室・各種大会を開催し、体力の維持・増進を図る。
- ・年齢・性別を問わず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの振興を図るため、ニュースポーツ教室を開催し、スポーツに参加できる機会の拡充に努める。
- ・スポーツを通し、高齢者や障がいのある方が積極的に社会との関わりを持てるよう、ウォーキング教室の開催や障がい者スポーツ指導員の継続的な育成に取り組む。
- ・市民がスポーツに取り組む際に、そのニーズに対応できる指導者やボランティアの育成を支援するため、生涯スポーツ指導者講習への参加促進やスポーツ推進委員の加入推進を図る。

② スポーツ施設の整備・利用促進

- ・多くの市民がスポーツ活動のできる拠点・環境づくりのため、施設の適正な維持管理を行い、各スポーツ施設の整備・充実を図る。また、施設の利用促進及び有効活用を図る。
- ・さくら市進化プランの進化事業「プール最適化計画の策定」に向け、ロードマップに沿って事業を推進する。

3 体育施設

(1) 屋内体育施設

◆ 氏家体育館

所在地 さくら市氏家2730番地

電話 028-682-8888 FAX 028-682-7541

昭和52年3月設置

建物面積 3,690.00㎡

(内訳) アリーナ 1,512.00㎡

格技場 450.00㎡

その他 1,728.12㎡

利用時間 午前9時～午後9時30分(日曜・祝日 ～午後5時まで)

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆喜連川体育館

所在地 さくら市喜連川4397番地1

電話 028-686-6625 FAX 028-686-4211

昭和54年3月設置

建物面積 1,227.00㎡

(内訳) アリーナ 858.00㎡

格技場 313.00㎡

その他 56.00㎡

利用時間 午前9時～午後9時30分(日曜・祝日 ～午後5時まで)

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆鷺宿体育館

所在地 さくら市鷺宿950番地

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置(建設年次：昭和63年)

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆河戸体育館

所在地 さくら市上河戸1824番地2

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置(建設年次：昭和53年)

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆金鹿体育館

所在地 さくら市鹿子畑1243番地3

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置(建設年次：平成元年)

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆穂積体育館

所在地 さくら市穂積477番地

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置(建設年次：昭和55年)

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆喜連川弓道場

所在地 さくら市喜連川4399番地2

平成12年4月設置

建物面積 179.82㎡

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆喜連川高校跡地体育館

所在地 さくら市喜連川561番地

平成24年7月栃木県から譲渡により社会体育施設として設置(建設年次：昭和42年)

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

休館日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

(2)屋外体育施設

◆総合公園

所在地 さくら市櫻野1789番地

敷地面積 159,000.00㎡

①野球場(2面)

昭和62年3月設置

敷地面積 26,970.96㎡

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

②テニスコート(人工芝コート4面)

昭和62年3月設置

敷地面積 4,844.92㎡

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

③プール

電話 028-682-0266

平成元年7月設置

敷地面積 10,000.00㎡ 水面積 1,600.00㎡

(内訳) ・ながれるプール

全長 143.0m 幅 6.0m 水面積 896.46㎡ 水深 1.0m

・ちびっこプール

水面積 94.62㎡ 水深 0.4~0.6m

・なみのプール

水面積 652.50㎡ 最水深 1.20m

・スライダープール

全長 48.0m 高さ 7.0m(着水プール 水面積 28.26㎡ 水深 0.80m)

利用期間 市立小中学校の夏休み期間を基本とし、毎年別に定める。

(H30 7/14・15・16：プレオープン H30 7/21～8/26)

利用時間 平日：午前9時から午後4時30分まで

土日・祝日・お盆期間：午前9時から午後5時まで

使用料 別紙のとおり

④ゲートボール場 平成2年3月設置

敷地面積 2,640.00㎡

ゲートボールコート 6面

利用時間 午前5時～午後5時

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

⑤さくらスタジアム(陸上競技場)

電話 028-688-8566 FAX 028-688-8596

平成27年10月設置 400mトラック8レーン(全天候型)

天然芝フィールド

利用時間 午前9時～午後9時(日曜・祝日 ～午後5時まで)

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

⑥バスケットボールコート

令和2年4月設置

舗装コート1面

利用時間 午前9時～午後5時

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日、年末年始

◆菖蒲沢公園

所在地 さくら市金枝62番地2

平成5年設置

敷地面積 23,884.00㎡

野球場 (2面)テニスコート (3面)

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年末年始

◆鬼怒川運動公園

所在地 さくら市向河原4101番地

昭和53年設置(平成10年再整備)

敷地面積 19,496.00㎡

サッカー場 (2面)多目的スペース

利用時間 午前5時～午後7時

休 場 日 毎年1～5月(芝生養生期間)

使 用 料 別紙のとおり

グラウンドゴルフ場(平成20年度オープン)

敷地面積 13,387.00㎡

休 場 日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年
末年始

◆喜連川運動場

所 在 地 さくら市喜連川886番地

昭和60年4月設置

敷地面積 24,356.00㎡

サッカー場 (1面)

利用時間 午前5時～午後9時

使 用 料 別紙のとおり

休 場 日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年
末年始

◆喜連川運動場テニスコート

所 在 地 さくら市喜連川811番地

平成7年4月設置

敷地面積 2,076.00㎡

テニスコート (3面)

利用時間 午前5時～午後7時

使 用 料 別紙のとおり

休 場 日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年
末年始

◆鷺宿運動場(現在、再整備のため利用中止中。整備完了後、利用再開。)

所 在 地 さくら市鷺宿4432番地2

昭和62年4月設置

敷地面積 21,425.00㎡

利用時間 午前5時～午後7時

使 用 料 別紙のとおり

休 場 日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年
末年始

◆喜連川高校跡地第1グラウンド

所 在 地 さくら市喜連川561番地

平成24年7月栃木県から譲渡により社会体育施設として設置

敷地面積 10,000㎡

野球場 (1面)

利用時間 午前5時から午後9時

使 用 料 別紙のとおり

休 場 日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年

未年始

◆SAKURAグリーンフィールド

所在地 さくら市喜連川561番地

敷地面積 16,507㎡

サッカー場 (1面)フットサルコート (1面)

利用時間 午前8時から午後9時

使用料 別紙のとおり

休場日 毎月第1・第3月曜日(ただし、第1、第3月曜日が祝日の場合翌平日)、年未年始

◆喜連川B&G海洋センター

所在地 さくら市喜連川826番地2

電話 028-686-3738

昭和63年設置

敷地面積 3,267.00㎡ 水面積 385㎡

(内訳) 競泳用プール 25m×13m 6コース

幼児用プール 10m×6m

利用時間 第1回 午後1時00分～午後3時00分

第2回 午後4時00分～午後6時00分

第3回 午後7時00分～午後9時00分

※夏休み期間(8/1～8/16)

第1回 午前9時00分～午前11時00分

第2回 午後1時00分～午後3時00分

第3回 午後4時00分～午後6時00分

第4回 午後7時00分～午後9時00分

利用期間 8月1日～11月30日まで

(月曜休館 月曜日が祝日または振替休日の場合は翌平日)

使用料 別紙のとおり

(3)学校開放体育施設

◆氏家小学校 体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(1面)

校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

◆南小学校 体育館 バレーボール(1面)バスケットボール(1面)

バドミントン(3面)

校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

◆上松山小学校 体育館 バレーボール(1面)バスケットボール(1面)

バドミントン(3面)

校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

◆熟田小学校 体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(1面)

バドミントン(3面)卓球台(3台)

校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

◆押上小学校 体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(1面)

バドミントン(3面)

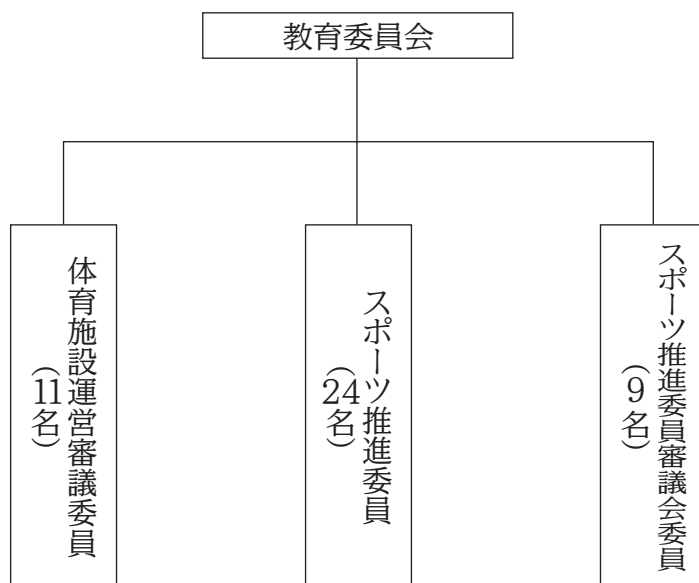
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆喜連川小学校 体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(1面)
バドミントン(3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他
- ◆氏家中学校 第1体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(2面)
バドミントン(6面)
第2体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(2面)
バドミントン(6面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他
- ◆喜連川中学校 体育館 バレーボール(2面)バスケットボール(2面)
バドミントン(3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他



4 社会体育関係団体および委員会

・推進組織



(1)スポーツ推進審議会(9名 任期2年)

スポーツ基本法に規定するもののほか、教育委員会の諮問に応じてスポーツ振興に関する次に掲げる事項について調査・審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- ①スポーツ施設及び設備の整備に関すること。
- ②スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- ③スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- ④スポーツの団体の育成に関すること。
- ⑤スポーツによる事故の防止に関すること。
- ⑥スポーツの技術水準の向上に関すること。
- ⑦前各号に掲げるもののほか、スポーツの振興に関すること。

(2)スポーツ推進委員会(24名 任期2年)

スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員は、市の社会体育・スポーツ活動の普及とその任務遂行のため委員相互の研修ならびに融和を図り、明朗で健全な精神を養いながら地域住民の体力づくりに寄与する。

- ①住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと。
- ②住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること。
- ③学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること。
- ④スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し、求めに応じ協力すること。
- ⑤住民一般に対しスポーツについての理解を深めること。
- ⑥前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの推進のための指導助言を行うこと。

(3) 体育施設運営審議会(11名 任期2年)

体育施設の適正な運営をはかるため、教育委員会の諮問に応じ、次の各号について調査審議する。

- ① 体育施設の適切な利用管理に関する事。
- ② 条例第10条に規定する施設利用料の減免に関する事。
- ③ 施行規則第2条第2項に規定する施設の臨時休業に関する事。
- ④ 体育以外の目的による利用許可に関する事。
- ⑤ その他施設の管理運営に特に必要と認める事項。

(4) スポーツ協会

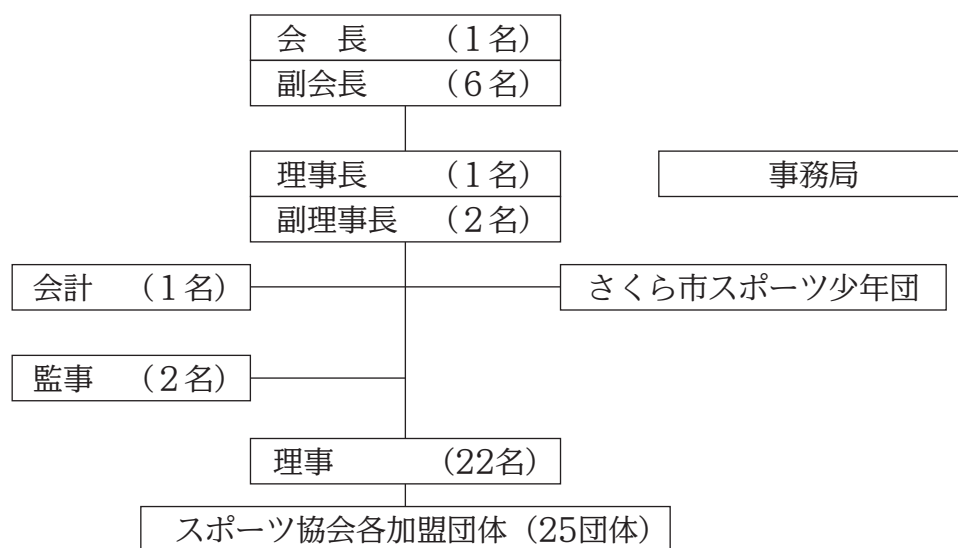
市のスポーツを振興し、生涯スポーツ活動の普及発達による市民の体力向上と健全なスポーツ精神の育成に努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた生活と文化の形成に寄与することを目的とする。

① 事業

目的を達成するために、次の事業を行う。

- ア、生涯スポーツ振興発展に向けた基本方針の確立と調査研究に関する事。
- イ、加盟団体の組織強化と相互の連絡融和を図ること。
- ウ、スポーツの振興と競技力の向上に関する事。
- エ、スポーツ大会、講習会、その他スポーツ行事の開催に関する事。
- オ、スポーツ少年団の育成に関する事。
- カ、その他本協会の目的達成に必要な事業に関する事。

② 組織



さくら市体育施設料金一覧表

表示の金額は、さくら市に居住・在勤する方、栃木県央都市圏または栃木県塩谷広域圏に在住・在勤・在学する方に適用され、それ以外の方は表示の倍の使用料になります。

栃木県央都市圏・栃木県塩谷広域圏(さくら市、宇都宮市、鹿沼市、日光市、真岡市、矢板市、下野市、上三川町、芳賀町、壬生町、塩谷町、高根沢町)

屋内体育施設

施設名称	区 分		利 用 案 内	使用料 (1時間あたり)	
				施設使用料	照明使用料
氏家体育館	アリーナ	全面		800円	800円
		半面	バスケットボール・ユニホック	400円	400円
		半面	ソフトテニス	400円	400円
		半面	バレーボール	300円	300円
		1/8面	バドミントン・インディアカ・ソフトバレーボール・ショートテニス・卓球	100円	100円
		ステージ		500円	500円
	卓球場	全面	卓球・太極拳・空手・ダンス	150円	150円
		卓球1面	卓球台1台を含む。	50円	50円
	卓球台1台		追加する場合	50円	—
	格技場	全面		400円	400円
		柔道場	柔道・柔術	200円	200円
		剣道場	剣道・空手・太極拳・ダンス	200円	200円
		1/8面	卓球台1台を含む。	50円	50円
	会議室		収容人数20名	500円	
	トレーニング室		1回の利用 (2時間)	100円	
			11回分の回数券	1,000円	
喜連川体育館	アリーナ	全面	ミニバスケットボール	400円	400円
		半面	バレーボール	200円	200円
		1/4面	バドミントン・インディアカ・ソフトバレーボール・ショートテニス・卓球	100円	100円
		ステージ		500円	500円
	格技場	全面	剣道・空手・太極拳・ダンス	200円	200円
		1/4面	卓球台1台を含む。	50円	50円
	卓球台1台		追加する場合	50円	—
	トレーニング室		1回の利用 (2時間)	100円	
			11回分の回数券	1,000円	

屋内体育施設

施設名称	区 分		利 用 案 内	使用料（1時間あたり）	
				施設使用料	照明使用料
喜連川高校跡地 体育館	アリーナ	全面		600円	600円
		半面	バスケットボール	300円	300円
		半面	バレーボール	200円	200円
		1/6面	バドミントン・インディアカ・ ソフトバレーボール	100円	100円
		ステージ		500円	500円
鷺宿体育館	全面	フットサル・バレーボール・ ミニバスケットボール	200円	200円	
河戸体育館	全面	バレーボール・ ミニバスケットボール	200円	200円	
金鹿・穂積体育館	全面	バドミントン・ソフトバレーボール・ インディアカ・バレーボール・ ミニバスケットボール	200円	200円	
喜連川弓道場	全面	弓道	150円	50円	
	1/3面		50円		

屋外運動場

施設名称	区 分		利 用 案 内	使用料（1時間あたり）	
				施設使用料	照明使用料
鬼怒川運動公園	サッカー 場	1面	サッカー（一般）	1,000円	－
		半面	サッカー（少年）	500円	－
	多目的スペース	スポーツ以外	500円	－	
喜連川運動場	全面	サッカー（一般）	500円	2,000円	
	片面	サッカー（少年）	250円	1,000円	
SAKURAグリーン フィールド	全面	サッカー（一般）	1,500円	2,000円	
	片面	サッカー（少年）	750円	1,000円	
	フットサルコート	フットサル	600円	500円	
菖蒲沢公園野球場	1面	軟式野球・ソフトボール	300円	2,000円	
喜連川高校跡地 第1グラウンド野球場	1面	軟式野球・ソフトボール	300円	1,000円	
総合公園野球場	1面（全灯）	軟式野球	500円	3,500円	
	1面（半灯）	ソフトボール	500円	2,000円	
総合公園バスケット ボールコート	1面	バスケットボール	当面の間無料		
	半面				

屋外運動場

施設名称	区 分	利 用 案 内	使用料（1時間あたり）	
			施設使用料	照明使用料
総合公園 さくらスタジアム	トラック	個人利用（2時間の料金）	200円	200円
		11回分の回数券	2,000円	
		専用利用	1,000円	[全灯]3,000円 [半灯]1,500円
	フィールド	専用利用	1,000円	[全灯]2,000円
		貸切利用（サッカー）	1,500円	[半灯]1,000円
	会議室	収容人数 20名	500円	—
	シャワー	1回（料金は居住地にかかわらず一律）	100円	—
	放送設備	1回（料金は居住地にかかわらず一律）	1,000円	—
写真判定機	1回（料金は居住地にかかわらず一律）	1,000円	—	

テニスコート

施設名称	区 分	利 用 案 内	使用料（1時間あたり）	
			施設使用料	照明使用料
総合公園テニス コート	人工芝コート1面	テニス	400円	300円
喜連川運動場・ 菖蒲沢公園・ テニスコート	ハードコート1面	テニス	300円	—

プール

施設名称	区 分	利 用 案 内	使用料	
			個 人	団体(20名以上)
喜連川 B&G海洋センター	小・中学生	幼児用プール・25mプール	200円	
	一般		400円	
	シルバー（満70歳以上）		200円	
総合公園プール	小学生未満	ちびっこプール・波のプール	100円	80円
	小・中学生	流れるプール	200円	160円
	一般	スライダープール	600円	480円

※プールについては市内・市外の方一律に上記の料金です。

資 料 編

令和2年度さくら市教育支援委員会委員名簿

(任期：令和3年3月31日まで)

No.	役職等	氏名
1	小児科医	小野三佳
2	氏家中スクールカウンセラー	尾崎美さ子
3	喜連川中スクールカウンセラー	田中久子
4	養護園園長	大谷順一
5	南那須特別支援学校教諭	水野由紀恵
6	氏家幼稚園園長	小堀洋人
7	熟田小学校長	鈴木勝久
8	氏家中学校長	藤田尚徳
9	氏家小学校教諭	岡田浩一
10	押上小学校教諭	五月女玉江
11	熟田小学校教諭	山口美紀
12	上松山小学校教諭	鈴木木かず磨
13	南小学校教諭	杉本有子
14	喜連川小学校教諭	谷上裕子
15	氏家中学校教諭	藤田昌子
16	喜連川中学校教諭	渡辺純子
17	たいよう保育園園長	山本英雄
18	福祉課障がい福祉係長	佐藤かず子
19	健康増進課保健予防係長	高根幸江
20	学校教育課スクールソーシャルワーカー	谷藤久仁子
21	学校教育課臨床心理士	半田有子
22	こども発達支援センターピーチ児童発達支援管理責任者	小西真美

さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏 名	備 考
1	ぬま お 尾 のぼる	南小学校長
2	ふじ た なお のり 徳	氏家中学校長
3	きた むら とよ こ 子	スポーツ活動（スポーツ協会）
4	こ やま のり こ 子	図書館活動（読み聞かせボランティア）
5	こ じま よう こ 子	家庭教育活動（オピニオンリーダー・主任児童委員）
6	ふな もと ゆき み 美	青少年育成活動（元青少年指導員）
7	こ ばやし とし お 夫	文化芸術活動（氏家喜連川歴史文化研究会）
8	いし ほら のり え 江	県次世代人材づくり事業研修修了生
9	き むら とし 春 雄	ミュージアム友の会員・元高校英語教諭
10	や ぎ さわ ひさ ひで 秀	公民館活動（ハーモニカサークル）
11	つの だ ふみ え 江	博物館活動（さくら民話の会）
12	おち あい たか し 史	作曲家
13	つ うら ゆき お 夫	自治公民館活動（自治公民館連絡協議会）
14	かみ おか けい こ 子	ふくしボランティア団体活動
15	ささ ぬま よし こ 子	公民館活動（公民館講座講師）・県次世代人材づくり事業研修修了生
16	み しば ゆき え 江	公民館活動（アンサンブルサークル）
17	たか せ 泉 いづみ	公民館活動（公民館講座講師）

委員長 木 村 春 雄
 副委員長 石 原 功 江
 副委員長 津 浦 幸 夫

さくら市図書館協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏名	備考
1	木村春雄	社会教育委員（委員長）
2	笹沼良子	社会教育委員
3	佐藤千明	学校代表（氏家小学校）
4	飯山理子	学校代表（喜連川中学校）
5	蓮見徹	学識経験者（元喜連川小学校長）
6	船生幸枝	利用者代表（アリスの会）
7	斎藤あけみ	利用者代表（バーバママ）
8	角田文江	利用者代表（さくら民話の会）
9	手塚孝	利用者代表（元喜連川図書館長）
10	谷口洋子	利用者代表（家庭教育オピニオンリーダー）

会長 蓮見 徹
副会長 船生 幸枝

さくら市博物館協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏名	備考
1	加藤啓三	学識経験者 うじいえ自然に親しむ会
2	金子立	学識経験者 氏家喜連川歴史文化研究会 今宮神社宮司
3	岡一雄	学識経験者 氏家喜連川歴史文化研究会 医師
4	高野美智子	学識経験者 地域と学校を結ぶコーディネーター
5	綱川榮	学識経験者 下野新聞社 特別編集委員
6	岩崎崇	学識経験者 まちづくりモニター さくら市生涯学習推進協議会
7	一條喜美江	学識経験者 文化財保護 生涯学習
8	船生正興	学識経験者 元高校教諭 美術教育
9	戸井出琉	学識経験者 元（株）電通営業局長 市民活動

※令和2年4月1日現在

委員長 岡 一 雄
副委員長 高 野 美智子

さくら市文化財保護審議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏名	備考
1	海老原 郁雄 <small>えびはら いくお</small>	学識経験者（栃木県考古学会顧問、考古）
2	岡田 義治 <small>おかだ よしはる</small>	学識経験者（栃木県建築士会名誉会長、建築）
3	中野 英男 <small>なかの ひでお</small>	学識経験者（元さくら市ミュージアム館長、民俗）
4	平川 晋吾 <small>ひらかわ しんご</small>	学識経験者（元宇都宮大学教授、美術）
5	村上 進 <small>むらかみすすむ</small>	学識経験者（元喜連川町文化財保護審議会委員、郷土史）
6	田代 俊夫 <small>たしろ としお</small>	学識経験者（元栃木県立博物館嘱託学芸員 自然）
7	平野 哲也 <small>ひらの てつや</small>	学識経験者（常盤大学准教授、文献）
8	篠原 浩恵 <small>しのはら ひろえ</small>	学識経験者（公益社団法人とちぎ未来づくり財団 考古）
9	深尾 宗淳 <small>ふかお そうじゅん</small>	学識経験者（龍光寺住職、郷土史）

※令和2年4月1日現在

会長 海老原 郁雄



さくら市生涯学習推進協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏 名	備 考
1	岩崎 崇 <small>いわ き たかし</small>	環境保護活動
2	小坂 佳代子 <small>こ さか かのよこ</small>	教員 であえ学び塾講師
3	高野 篤 <small>たか の あつし</small>	さくらまちあそびクラブ主宰
4	早川 達也 <small>はや かわ たつ や</small>	まちづくりボランティア
5	山本 智代 <small>やま もと とも よ</small>	スポーツ推進活動
6	戸村 敏之 <small>と むら とし ゆき</small>	行政 (市民生活部)
7	塚形 義光 <small>つか がた よし みつ</small>	市民大学修了生
8	新江 悟 <small>あら え さとる</small>	観光協会活動 市民活動助成審査会委員
9	大西 貴之 <small>おお にし たか ゆき</small>	公民館活動 行政 (喜連川給食センター)
10	佐藤 康夫 <small>さとう やす お</small>	行政 (総合政策課)
11	坂本 秀子 <small>さか もと ひで こ</small>	まちづくり活動実践者
12	飯村 充代 <small>いひ むら みつ よ</small>	文化財保存活動
13	大関 絹恵 <small>おお せき きぬ え</small>	教員 (前生涯学習課社会教育主事)
14	岡田 慎 <small>おか だ まこと</small>	行政 (総合政策課)
15	竹田 健一 <small>たけ だ けん いち</small>	県地域協働推進員 地域活性化活動
16	杉田 雅彦 <small>すぎ た まさ ひこ</small>	県地域協働推進員 公民館講座講師 (音楽)
17	小林 愛也佳 <small>こ ばやし あや か</small>	さくらメイツ ソプラノ歌手
18	石井 義男 <small>いし い よし お</small>	公民館活動 まちづくりボランティア
19	中津原 昭雄 <small>なかつ はら あき お</small>	公民館活動 市民大学修了生

会 長 山 本 智 代
副会長 岩 崎 崇
副会長 早 川 達 也

さくら市青少年センター運営協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏 名	備 考
1	飯島 満 <small>いし じま みつる</small>	少年指導員会会長
2	加藤 明 代 <small>かとう あき よ</small>	少年指導員会副会長
3	小口 勤 <small>こぐち つとむ</small>	栃木県青少年育成指導員
4	田中 耕 一 <small>たなか こういち</small>	社会福祉協議会代表
5	小林 行 雄 <small>こばやし ゆき お</small>	民生委員児童委員協議会連合会長
6	内藤 進 <small>ないとう すずむ</small>	子ども会連合会顧問
7	沼尾 則 之 <small>ぬま おのり ゆき</small>	警察関係者（さくら警察署生活安全課長）
8	吉澤 テル子 <small>よしざわ てるこ</small>	地域と学校を結ぶコーディネーター（南小学校）
9	沼尾 昇 <small>ぬま おのぼる</small>	南小学校長（市校長会代表）
10	石川 博 <small>いしかわ ひろし</small>	氏家中学校（生徒指導主事）
11	石塚 久 恭 <small>いしづか ひさ やす</small>	喜連川小学校（児童指導主任）
12	根本 広 昭 <small>ねもと ひろ あき</small>	行政（学校教育課指導主事）

会 長 田 中 耕 一
副会長 内 藤 進



さくら市青少年センター少年育成サポーター

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏名	備考
1	飯島 満	ゆめ!さくら博実行委員長／栃木県薬物乱用防止指導員
2	植木 啓之	元南小学校PTA会長
3	大河原 千晶	さくら市議会議員
4	大貫 哲男	さくら市職員
5	岡田 敏子	更生保護女性会／さくら市社会福祉協議会理事
6	岡村 浩雅	さくら市議会議員
7	小澤 明美	母子父子自立支援員兼婦人相談員
8	加藤 明代	さくら市子ども会連合会副会長
9	加藤 朋子	さくら市議会議員
10	加藤 英雄	元氏家中学校PTA会長／元熟田小学校PTA会長
11	神山 由里子	さくら市小学校非常勤講師
12	川崎 保成	元さくら市職員
13	小松 会美	さくら市職員
14	齋藤 秀夫	自然体験教室経営者
15	佐藤 朋子	放課後ふれあいスクールサポーター
16	佐藤 康夫	さくら市職員
17	鈴木 久美子	上松山児童センターセンター長／保護司／栃木県薬物乱用防止指導員
18	鈴木 真澄	「アリスの会」会員／オペラ団体「ヴェルデ会」会員
19	相馬 裕子	家庭教育オピニオンリーダー「ミミィーの会」会員／放課後ふれあいスクールサポーター
20	滝口 尚子	家庭教育オピニオンリーダー「ミミィーの会」会員
21	手塚 春美	元放課後ふれあいスクールサポーター
22	永井 孝淑	さくら市議会議員
23	福田 克之	さくら市議会議員
24	村上 佳彦	高校非常勤講師／元さくら市社会教育指導員
25	森山 京逸	昔遊び仲間の会／さくら市観光ボランティア会員／県生きがいづくりアドバイザー
26	柳下 有希	うじいえリーダーズクラブOG／さくら市子ども会連合会役員
27	横塚 一徳	さくら市職員
28	渡邊 能辰	さくら市観光ボランティア会員
29	瀧澤 照子	更生保護女性会／元さくら市社会福祉協議会職員

会長 飯島 満
副会長 加藤 明代
副会長 清水 政明

さくら市スポーツ推進委員名簿

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏名	主な種目等	備考
1	五江 潤 賢 一	野球・陸上	再任
2	加藤 泰 明	剣道	
3	印南 眞 弓	バレーボール	
4	仁科 明 彦	陸上	
5	齋藤 美智子	バレーボール	
6	斎藤 政 利	バレーボール	
7	柴山 能 成	サッカー	
8	佐々木 眞由美	バレーボール	
9	遠山 あい子	バレーボール	
10	福田 貴 之	陸上	
11	飯田 径 夫	卓球	
12	山本 智 代	レクリエーション	
13	芳村 のぼる	ソフトバレーボール	
14	谷田 勝 美	バスケットボール	
15	加藤 文 子	バレーボール	
16	中田 準 也	陸上	
17	工藤 直 人	剣道・バレーボール	
18	荒井 路 子	バレーボール	
19	仲澤 克 之	野球・ソフトボール	
20	石崎 美佐子	バレーボール	↓
21	軽部 眞 一	ソフトバレーボール	新任
22	山中 のぼる	卓球	
23	小野 泰 紀	弓道・陸上	
24	岩崎 志津江	レクリエーション	↓

会長 飯田 径 夫
 副会長 佐々木 眞由美
 副会長 谷田 勝 美

さくら市スポーツ推進審議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏 名	備 考
1	五江 洩 賢 一	元スポーツ団体代表者（元さくら市スポーツ推進委員会会長）
2	小 林 邦 夫	元県立高等学校校長 スポーツ団体代表者（市弓道連盟会長）
3	野 中 洋	スポーツ団体代表者（さくら市スポーツ協会会長）
4	矢 沢 三 正	元スポーツ団体代表者
5	小 堀 智 子	元スポーツ団体代表者（元さくら市スポーツ協会副会長）
6	小 野 隆	元スポーツ団体代表者（元さくら市スポーツ協会副会長）
7	川 上 登志行	元スポーツ団体代表者（元さくら市スポーツ協会会長）
8	飯 田 径 夫	スポーツ団体代表者（さくら市スポーツ推進委員会会長）
9	栗 橋 仁	行政機関（教育委員会次長）

会 長 小 林 邦 夫
副会長 五江洩 賢 一

さくら市体育施設運営審議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

No.	氏 名	備 考	参 考
会長	橋 本 啓 二	審議会規則第7条（教育長）	
1	高 山 登	市職員（総合政策部長）	
2	小 島 誠	市職員（建設部長）	
3	中 村 卓 資	市職員（学校教育課長）	
4	早 田 勇	市職員（生涯学習課長）	
5	杉 山 敏 明	県職員（校長会会長）	
6	野 中 洋	市スポーツ協会（会長）	
7	関 谷 栄 一	市内職場代表	
8	北 村 豊 子	一般市民	
9	五江 洩 賢 一	一般市民	
10	平 松 祐 一	一般市民	
特別委員	—————	審議会規則第5条（副市長）	

スポーツ協会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|----------|-------|----------|----------|------|--------|-------|------|------------|----------|----------|------|------|------|------|------|---------|-------|----------|------------|-------|-------|-------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 陸上競技協会 | 野球連盟 | ソフトボール協会 | テニス協会 | ソフトテニス協会 | バレーボール協会 | 卓球連盟 | サッカー協会 | スキー協会 | 水泳連盟 | バスケットボール協会 | バドミントン協会 | インドエアカ協会 | 剣道協会 | 柔道連盟 | 弓道連盟 | 相撲連盟 | 射撃協会 | レスリング協会 | 空手道連盟 | ゲートボール協会 | グラウンドゴルフ協会 | ゴルフ連盟 | 太極拳協会 | 居合道連盟 |

～市民ひとり1スポーツ～



市民体育祭



さくら市マラソン大会

裏表紙絵・子の年

栃木県文化功労者・日展特別会員・光風会名誉会員
作 杉山吉伸氏（さくら市氏家在住）

令和2年度 さくら市の教育（教育要覧）

発行日 令和2年12月1日
編集 さくら市教育委員会
発行人 橋本 啓二
〒329-1492
さくら市喜連川4420番地1
電話 028(686)6620



2020